

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人室蘭工業大学

(2) 大学名 室蘭工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒050-8585
北海道室蘭市水元町27番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(クガ ヨシカズ) 空閑 良壽 (平成27年4月)		
学科長等	(ハナジマ ナオヒコ) 花島 直彦 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 創造工学科 学士（工学）	工学関係	4 年	365 (40) 人	25 3年次 人	1,510 人	入学定員欄の（ ）書は 夜間主コースの定員で内数

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	365人 (-) [-]	-人	365人 (-) [-]	-人	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.05倍	-	
志願者数	1171 (-) [38]	-	1323 (-) [51]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	1097 (-) [38]	-	1243 (-) [51]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	473 (-) [31]	-	462 (-) [24]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	390 (-) [16]	-	381 (-) [11]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.06		1.04										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	390 [16] (-)	- [-] (-)	381 [11] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		385 [14] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()	[] ()	[] ()
計			390 [16] (-)		766 [25] (-)				[] ()		[] ()

・令和2年5月1日 公表

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	390 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	766 人	5 人	令和元年度	5 人	2 人	進路変更、専門学校入学、経済的理由 [進路変更、他大学へ進学]
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
合計		5 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{390} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{766} = \boxed{0.65} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の退学者数(a)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

コース科目 (電気電子工学コース)	単位数	履修時期	履修可能な学生数							履修可能な学生数
			1	2	3	4	5	6		
電気エネルギー	電磁エネルギー変換工学	3前		2		1				
	高圧工学	3前		2		1				
	制御工学	3前		2		1				
	電力発生工学	3後		2			1			
	送配電工学	3後		2		1				
	電気機器学	3後		2			1			
	パワーエレクトロニクス	3後		2		1				
	原子力工学	4前		1		1				
	電気関係法規・電気施設管理	4前		1		1				
	電気機器設計製図	4前		2			1			
	小計(12科目)	—	4	18		2	2		2	
	計測通信	電子回路 I	2後	2			1			
計測システム工学		2後	2			1				
デジタル回路		2後	2			1				
電子回路 II		3前	2				1			
信号処理		3前		2			1			
通信工学		3前		2		1				
情報符号理論		3前		2		1				
無線伝送工学		3後		2		1				
伝送回路工学		3後		2		1				
通信網工学		3後		2		1				
電気通信関係法規		4前		1		1				
小計(11科目)		—	8	13		3	2			
エンジニアリングデザイン・実験	工学演習 I	2後	2			1		1		
	工学演習 II	3前	2			1		1		
	電気電子工学実験 A	3前	4			1		3		兼1
	電気電子工学実験 B	3後	4				3	2		
	卒業研究	4通	10			7	7	5		兼1
小計(5科目)	—	22			7	7	5		兼1	
合計(260科目)	—	267	188		23	26	3	17		兼74

卒業要件及び履修方法

日本語科目の履修要件等
1. 外国人留学生を対象として開講する授業科目である。
2. 外国語科目として履修することができる。
3. 外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。

履修科目の上限
毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値（GPA）が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件（一般教養教育）
1. 外国語科目9単位以上、地域連携科目2単位以上、人と社会に関する科目12単位以上、その他外国語科目、地域連携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上、合計24単位以上修得すること。

卒業要件（理工学部共通科目、創造工学部共通科目）
1. 理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位、合計49単位以上修得すること。

卒業要件（創造工学部 建築土木工学コース）
1. 建築学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、建築学トラック科目の必修科目34単位、選択科目8単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 土木工学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラック科目の必修科目35単位、選択科目A・Bから7単位以上（ただし、選択科目A：2単位以上、選択科目B：4単位以上）、合計56単位以上修得すること。
3. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、建築学トラックについては合計129単位以上、土木工学トラックについては合計129単位以上修得すること。

卒業要件（創造工学部 機械ロボット工学コース）
1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

卒業要件（創造工学部 航空宇宙工学コース）
1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

卒業要件（創造工学部 電気電子工学コース）
1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目14単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

コース科目 (電気電子工学コース)	単位数	履修時期	履修可能な学生数							履修可能な学生数
			1	2	3	4	5	6		
電気エネルギー	電磁エネルギー変換工学	3前		2		1				
	高圧工学	3前		2		1				
	制御工学	3前		2		1				
	電力発生工学	3後		2		1				
	送配電工学	3後		2		1				
	電気機器学	3後		2		1				
	パワーエレクトロニクス	3後		2		1				
	原子力工学	4前		1		1				
	電気関係法規・電気施設管理	4前		1		1				
	電気機器設計製図	4前		2			1			
	小計(12科目)	—	4	18		4			2	
	計測通信	電子回路 I	2後	2			1			
計測システム工学		2後	2			1				兼1
デジタル回路		2後	2			1				
電子回路 II		3前	2				1			
信号処理		3前		2			1			
通信工学		3前		2		1				
情報符号理論		3前		2		1				
無線伝送工学		3後		2		1				
伝送回路工学		3後		2		1				
通信網工学		3後		2		1				
電気通信関係法規		4前		1		1				
小計(11科目)		—	8	13		2	2		兼1	
エンジニアリングデザイン・実験	工学演習 I	2後	2			1		1		
	工学演習 II	3前	2			2				
	電気電子工学実験 A	3前	4			2		2		兼1
	電気電子工学実験 B	3後	4			1	2	1		
	卒業研究	4通	10			8	6	3		兼1
小計(5科目)	—	22			8	6	3		兼1	
合計(260科目)	—	267	188		26	23	2	12		兼86

卒業要件及び履修方法

日本語科目の履修要件等
1. 外国人留学生を対象として開講する授業科目である。
2. 外国語科目として履修することができる。
3. 外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。

履修科目の上限
毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値（GPA）が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。

卒業要件（一般教養教育）
1. 外国語科目9単位以上、地域連携科目2単位以上、人と社会に関する科目12単位以上、その他外国語科目、地域連携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上、合計24単位以上修得すること。

卒業要件（理工学部共通科目、創造工学部共通科目）
1. 理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位、合計49単位以上修得すること。

卒業要件（創造工学部 建築土木工学コース）
1. 建築学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、建築学トラック科目の必修科目34単位、選択科目8単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 土木工学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラック科目の必修科目35単位、選択科目A・Bから7単位以上（ただし、選択科目A：2単位以上、選択科目B：4単位以上）、合計56単位以上修得すること。
3. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、建築学トラックについては合計129単位以上、土木工学トラックについては合計129単位以上修得すること。

卒業要件（創造工学部 機械ロボット工学コース）
1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

卒業要件（創造工学部 航空宇宙工学コース）
1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

卒業要件（創造工学部 電気電子工学コース）
1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目14単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
外国語科目	フレッシュマン英語演習	1前	1									兼8
	英語リーディング演習A	1後	1									兼4
	英語リーディング演習B	2前	1									兼4
	英語総合演習	2後	1									兼8
	英語コミュニケーションⅠ	2前・後	1									兼4
	英語コミュニケーションⅡ	3前	1									兼2
	TOEIC英語演習Ⅰ	1後	1									兼4
	TOEIC英語演習Ⅱ	3前	2									兼4
	ドイツ語	1前・後		1								兼1
	中国語	1前・後		1								兼1
小計（10科目）	—	8	3								兼10	
地域連携科目	地域社会概論	1前	1		1							兼3
	担振学入門	1前	1									兼1
	北海道産業論A	3前	1			1						
	北海道産業論B	3前	1		1							兼1
	北海道産業論C	3前	1									兼1
	インター・テクノロジーA	3前	1		1							兼1
	インター・テクノロジーB	4前	1		1							兼1
	小計（7科目）	—	1	6		3	1					兼7
一般教養教育 人と社会に関する科目	平和学	1前	1									兼1
	哲学入門	1前	1									兼1
	こころの科学	1前	1									兼1
	経済のしくみ	1前	1									兼1
	日本の憲法	1後	2									兼1
	現代社会論	1後	2									兼1
	現代民主主義論	1後	2									兼1
	現代心理学	1後	2									兼1
	運動の科学	1後	2									兼1
	経済事情	1後	2									兼1
	医の科学	1後	2									兼1
	メンタルヘルス論	1後	2									兼1
	青少年と文化	1後	2						1			兼1
	異文化交流A	1後	2									兼1
	ドイツの文化	1後・2前	1									兼1
	中国の文化	1後・2前	1									兼1
	環境経済論	2前	2									兼1
	基本的人権論	2前	2									兼1
	地方自治論	2前	2									兼1
	感性の科学	2前	2									兼1
	国際文化論	2前	2									兼1
	異文化交流B	2前	2									兼1
	地域再生システム論	1前	2			1						兼2
	キャリアデザイン	2後	2									兼1
	スポーツ実習a	1前	1									兼3
	スポーツ実習b	1前	1									兼1
	スポーツ実習c	1後	1									兼1
	スポーツ実習d	1後	1									兼1
	臨海実習	1・2・3・4前	1									兼4
	海外語学研修	1・2・3・4前	2									兼3
	海外研修	1・2・3・4前	1									兼3
	社会体験実習	1・2・3・4前	1		1							兼2
	地域インターンシップ	3前・後	2		4	1						兼3
	短期インターンシップ	3前・後	2		4	1						兼3
	長期インターンシップ	3前・後	3		4	1						兼3
	連携教養科目	1・2・3・4前										
小計（36科目）	—	58		5	2		1				兼23	
日本語科目	日本語 A-1	1・2・3・4前	1									兼1
	日本語 B-1	1・2・3・4前	1									兼1
	日本語 C-1	1・2・3・4前	1									兼1
	日本語 D-1	1・2・3・4前	1									兼1
	日本語 A-2	1・2・3・4前	1									兼1
	日本語 B-2	1・2・3・4前	1									兼1
	日本語 C-2	1・2・3・4前	1									兼1
	日本語 D-2	1・2・3・4前	1									兼1
小計（8科目）	—	8									兼2	
	線形代数A	1前	2									兼3
	線形代数B	1後	2									兼3

理工学部 共通科目	微分積分 A	1前	2							兼4	
	微分積分 B	1後	2							兼4	
	微分積分 C	2前	2							兼4	
	物理学 A	1前	2			1		0		兼3	
	物理学 B	1後	1			2		1		兼5	
	物理学 C	1後	1			2		1		兼5	
	化学	1後		2						兼4	
	生物学	1後		2						兼4	
	環境科学	2前	2			3	2			兼4	
	フレッシュマンセミナー	1前	1			1	2		1	兼0	
	知的財産所有権論	3前	1							兼2	
	小計 (13 科目)	—	18	4		4	7		2	兼26	
	理工学部 共通科目	情報科目	情報セキュリティ入門	1前	2						兼4
データサイエンス入門			1後	2			2	1		兼6	
プログラミング入門			1後	2						兼4	
小計 (3 科目)			—	6			2	1		兼10	
創造工学科 共通科目	専門基礎科目	工業物理基礎実験	1後	1			1		1	兼3	
		化学・生物学概論	1前	2						兼4	
		電気回路基礎	2前	2				4			
		電磁気学基礎	2前	2			4				
		材料の力学 A	2前	1				1			
		材料の力学 B	2前	1			1	1		1	
		流れの力学 A	2前	1				1			
		流れの力学 B	2前	1			1				
		熱力学基礎 A	2前	1			1				
		熱力学基礎 B	2前	1				1			
		計測工学	2前	1			1	1			
		工学概論	2前	1			2	3			
		工学技術者倫理	3後	2			4	2			
	小計 (13 科目)	—	17			13	11		2	兼7	
	情報科目	統計的データ処理	2後	2				3		2	
		現代情報学概論	2前	2							兼4
		確率統計	2前	2			1	3		2	
		小計 (3 科目)	—	6			1	4		2	兼4
	コース 共通科目	土木工学概論	2後	1			2	1			
建築学概論		2後	1			1	5		3	兼1	
プロジェクト評価		2後	1				1				
図学		2後	1						1		
都市計画		2後	1				2				
空間の環境		2後	1				1				
建設構造力学		2後	1					1			
建設材料学		2後	1			1	1				
卒業研究		4通	6			4	11	1	4	兼1	
小計 (9 科目)		—	14			4	11	1	4	兼1	
設計・ 計画	建築設計基礎	2後	1						1		
	建築設計 I	2後	1				2				
	建築設計 II	3前	2				2				
	建築設計 III	3後	2				1				
	建築設計 IV	4前		2			3				
	建築史	3前	2						1		
	建築設計論	3後	2				1				
	建築計画 I	3前	2				1				
	建築計画 II	3後		2			1				
	建築構法計画	3前	2				1				
	都市マネジメント	3前		2			1				
	都市地域計画 I	2後	1				1				
	都市地域計画 II	3前		2			1				
小計 (13 科目)	—	15	8			4		1			
建築学 トラック	環境・ 生産	建築環境工学 I	2後	1					1		
		建築環境工学 II	3前	2					1		
		建築設備	3後	2						1	
		寒地建築環境工学	3後		2					1	
		建築材料 I	2後	1			1				
		建築材料 II	3前		2		1				
		建築材料実験	3前	1			1				
		建築施工	3後	2			1				
	小計 (8 科目)	—	8	5		1			1		
	建築構造力学 I	2後	1				1				
建築構造力学 II	3後		3					1			
建築構造力学 III	4前	2				1					

コース科目 (建築土木工学コース)	構造	建築鋼構造	3前	2								兼1	
		建築鉄筋コンクリート構造	3前	2				1					
		建築構造演習	3後		2			1					兼1
		基礎構造	3後		2					1			
		建築構造設計演習	4前		2			1		1			
		小計 (8 科目)	—	5	11			1		1			兼1
	実践・実務・関連	建築学演習Ⅰ	2後	1			1	5		3			兼1
		建築学演習Ⅱ	3前	1			1	1					
		建築学演習Ⅲ	3後	2			1	5		3			兼1
		建築法規	3後	2				1		1			
		建築測量学実習	4前		1		1						
		小計 (5 科目)	—	6	1		1	5		3			兼1
	地盤系	土質力学Ⅰ	2後	2						1			
		土質力学Ⅱ	3前	2			1						
		応用土質力学	3後	2			1						
		土木地質学	4前		1				1				
		防災地盤工学	4前		1				1				
		火山防災工学	3前	2					1				
		小計 (6 科目)	—	8	2		1	2					
		構造・材料系	土木構造力学Ⅰ	2後	1						1		
土木構造力学Ⅱ			3前	2						1			
応用構造力学			3後		1					1			
振動工学			3後	2					1				
コンクリート工学			2後	1					1				
土木工学創造演習			2後	1					2	1			
コンクリート構造学Ⅰ			3前	2					1				
コンクリート構造学Ⅱ	3後			1				1					
維持管理工学	4前			1				2	1				
鋼構造学	3後		2					1					
小計 (10 科目)	—	11	3				2	1					
水工系	水理学Ⅰ	2後	2				1						
	水理学Ⅱ	3前	2				1						
	応用水理学	3後	2				2						
	水文学	4前		1			1						
	海岸・海洋工学	4前		1			1						
	港工学	4前		1			1						
	河川計画学	4前		1			1						
	小計 (7 科目)	—	6	4		2							
計画・交通系	地域計画	2後	1					1					
	交通システム計画	3前	2					1					
	建設マネジメント	4前		2				1		1			
	小計 (3 科目)	—	3	2				1		1			
衛生系	環境衛生工学	3後		1				1					
	廃棄物工学	3後		1				1					
	小計 (2 科目)	—		2				1					
実践・実務・関連	測量学	3前	2							1			
	測量学実習	3前	1					1		1			
	土木実験	3前	1			2	3	1					
	土木工学ゼミナール	3後	2					1		1			
	設計製作演習	3後		1				1					
	空間情報処理	2後	1							1			
	土木応用プログラミング	4前		1						1			
	小計 (7 科目)	—	7	2		2	4	1	1				
力学系科目群	熱力学	2後	2				1						
	伝熱工学	3後		2						1			
	流体力学Ⅰ	2後	2							1			
	流体力学Ⅱ	3前	2				1						
	材料力学Ⅰ	2後	2				1						
	材料力学Ⅱ	3前	2				1						
	機械力学Ⅰ	2後	2						1				
	機械力学Ⅱ	3前	2						1				
	小計 (8 科目)	—	14	2			3		1	2			
	システム系科目群	制御工学	2後	2				1					
システム制御工学		3前	2				1						
電気電子工学		2後	2					1					
計測システム工学		2後		2			1	1					
ロボット工学		3前	2				1						
知能ロボット応用学		3後		2			1						
小計 (6 科目)		—	8	4			3	2					
機構学	2後		2			1							
コース科目 (機械ロボット)													

工学コース	エンジニアリングデザイン・実験科目群	機械システム設計学	3前	2			1				
		機械製作学	3後	2				1			
		機械材料学	3後	2						1	
		機械製図	2後	2			1				
		機械工作法実習	3前	2		1		1			
		機械ロボット工学実験	3前	2		8	3	2	4		
		機械ロボット工学演習	3後	2		2	1	2	4		
		機械ロボット工学設計法	4前	2		1	3	2	4		
		技術英語	3前	2			1				
		技術コミュニケーション	3後	2		1					
		卒業研究Ⅰ	4前	4		8	4	2	5		
		卒業研究Ⅱ	4後	6		8	4	2	5		
		小計（13科目）	—	24	8		8	4	2	5	
コース科目（航空宇宙工学コース）	応用数学科目群	応用解析学Ⅰ	2後	2			1		1		
		応用解析学Ⅱ	3前	2		1			1		
		小計（2科目）	—	4		1	1		1		
	空力科目群	飛行力学Ⅰ	2後	2			1				
		飛行力学Ⅱ	3前	2			1		1		
		数値流体力学	3後	2			1				
		空気力学	3前	2			1				
		航空機設計法Ⅰ	3後	2			1				
	小計（5科目）	—	6	4			2		1		
	機体構造・材料科目群	航空宇宙構造工学Ⅰ	2後	2		1	1				
		航空宇宙構造工学Ⅱ	3前	2		1					
		航空宇宙構造工学Ⅲ	3後	2			1				
		航空宇宙機械力学	2後	2						1	
	小計（4科目）	—	6	2		1	1			1	
	誘導・制御科目群	航空宇宙制御工学Ⅰ	2後	2							1
		宇宙航行工学	3前	2		1					
		航空宇宙制御工学Ⅱ	3後	2		1					
	小計（3科目）	—	2	4		1					1
	推進工学科目群	航空宇宙熱力学	2後	2						1	
		ロケット工学	3前	2		2				1	兼1
		ジェットエンジン	3後	2						1	
		燃焼工学	2後	2			1				
		伝熱工学	3前	2		2	1			1	
小計（5科目）	—	2	8		2	1		1		兼1	
工電電子科目群	航空宇宙電気電子工学	2後	2			1					
	小計（1科目）	—	2			1					
工学系実践力・システム設計能力科目群	機械製図	2後	1			1					
	航空宇宙工学製図	3後	2		1				2		
	航空宇宙工学特別講義	4通	1		3						
	宇宙機設計法	4前	2		4	3			3	兼1	
	航空機設計法Ⅱ	4前	2			1					
	航空宇宙工学実験	3前	2		2	1			2		
	航空宇宙工学セミナー	3後	2		4	4			3	兼1	
	卒業研究Ⅰ	4前	4		4	4			3	兼2	
	卒業研究Ⅱ	4後	6		4	4			3	兼2	
小計（9科目）	—	18	4		4	4		3		兼2	
コース科目（電気電子工学）	電子物性デバイス	電磁気学	2後	2			1				
		電磁気学演習	2後	2			1		2		
		電子物性	2後	2			1				
		半導体工学	3前	2			1				
		電気電子材料	3後	2			1				
	小計（5科目）	—	8	2		2			2		
	電気エネルギー	電気回路	2後	2				1			
		電気回路演習	2後	2				1		2	
		電磁エネルギー変換工学	3前	2			1				
		高電圧工学	3前	2			1				
		制御工学	3前	2			1				
		電力発生工学	3後	2				1			
		送配電工学	3後	2			1				
		電気機器学	3後	2				1			
パワーエレクトロニクス		3後	2			1					
原子力工学		4前	1			1					
電気関係法規・電気施設管理		4前	1			1					
電気機器設計製図		4前	2				1				
小計（12科目）	—	4	18			2	2		2		
計測システム工学	電子回路Ⅰ	2後	2			1					
	計測システム工学	2後	2			1					

コース)	計測通信	デジタル回路	2後	2			1						
		電子回路Ⅱ	3前	2				1					
		信号処理	3前		2				1				
		通信工学	3前		2		1						
		情報符号理論	3前		2		1						
		無線伝送工学	3後		2		1						
		伝送回路工学	3後		2		1						
		通信網工学	3後		2		1						
		電気通信関係法規	4前		1		1						
		小計 (11 科目)	—	8	13		3	2					
		エンジニアリングデザイン・実験	工学演習Ⅰ	2後	2				1		1		
工学演習Ⅱ	3前		2				1		1				
電気電子工学実験A	3前		4				1		3		兼1		
電気電子工学実験B	3後		4				3		2				
卒業研究	4通		10			7	7		5		兼1		
小計 (5 科目)	—		22			7	7		5		兼1		
合計 (260 科目)		—	267	188		23	26	3	17		兼73		
卒業要件及び履修方法													
<p>日本語科目の履修要件等</p> <p>1. 外国人留学生を対象として開講する授業科目である。</p> <p>2. 外国語科目として履修することができる。</p> <p>3. 外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。</p>													
<p>履修科目の上限</p> <p>毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値 (GPA) が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。</p>													
<p>卒業要件 (一般教養教育)</p> <p>1. 外国語科目9単位以上、地域連携科目2単位以上、人と社会に関する科目12単位以上、その他外国語科目、地域連携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上、合計24単位以上修得すること。</p>													
<p>卒業要件 (理工学部共通科目、創造工学科共通科目)</p> <p>1. 理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位、合計49単位以上修得すること。</p>													
<p>卒業要件 (創造工学科 建築土木工学コース)</p> <p>1. 建築学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、建築学トラック科目の必修科目34単位、選択科目8単位以上、合計56単位以上修得すること。</p> <p>2. 土木工学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラック科目の必修科目35単位、選択科目A・Bから7単位以上 (ただし、選択科目A:2単位以上、選択科目B:4単位以上)、合計56単位以上修得すること。</p> <p>3. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、建築学トラックについては合計129単位以上、土木工学トラックについては合計129単位以上修得すること。</p>													
<p>卒業要件 (創造工学科 機械ロボット工学コース)</p> <p>1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。</p> <p>2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。</p>													
<p>卒業要件 (創造工学科 航空宇宙工学コース)</p> <p>1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。</p> <p>2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。</p>													
<p>卒業要件 (創造工学科 電気電子工学コース)</p> <p>1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目14単位以上、合計56単位以上修得すること。</p> <p>2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。</p>													

力学系科目群	伝熱工学	3後	2					1			
	流体力学Ⅰ	2後	2					1			
	流体力学Ⅱ	3前	2	1							
	推進工学	2後	2		1						
	材料力学Ⅰ	2後	2		1						
	材料力学Ⅱ	3前	2	1							
	航空宇宙構造力学	2後	2		1						
	機械力学Ⅰ	2後	2					1			
	機械力学Ⅱ	3前	2					1			
	小計（10科目）	—	8	12		3	2	1	2		
	システム系科目群	電子回路Ⅰ	2後	2					1		
デジタル回路		3後	2	1							
制御工学		3前	2		1						
計測システム工学		3前	2	1							
ロボット工学		3前	2	1							
小計（5科目）		—	2	8		4			1		
エンジニアリングデザイン・実験科目群		機械工学概論	3前	1	2	1					
	機構学	2後	2	1							
	機械製作学	3後	2			1					
	機械材料学	3後	2					1			
	機械製図	3前	2		1						
	機械工作法実習	3前	2		1	1					
	機械工学実験	3後	2		8	3	2	4			
	機械工学セミナーA	2後	2		1						
	機械工学セミナーB	3前	2		1						
	卒業研究Ⅰ	4前	4		8	4	2	5			
	卒業研究Ⅱ	4後	6		8	4	2	5			
小計（11科目）	—	20	7		8	4	2	5			
電子物性デバイス科目群	電磁気学	2後	2		1						
	電磁気学演習	2後	2		1						
	電子物性	2後	2					1			
	半導体工学	3前	2		1						
	電気電子材料	3後	2		1						
小計（5科目）	—	8	2		2			1			
電気エネルギー科目群	電気回路	2後	2			1					
	電気回路演習	2後	2			1					
	電磁エネルギー変換工学	3前	2		1						
	制御工学	3前	2		1						
	原子力工学	4前	1		1						
	電気関係法規・電気施設管理	4前	1		1						
	電気機器設計製図	4前	2			1					
小計（7科目）	—	6	6		2	2					
計測通信科目群	電子回路Ⅰ	2後	2					1			
	計測システム工学	3前	2		1						
	デジタル回路	3後	2		1						
	電子回路Ⅱ	3前	2			1					
	信号処理	3前	2			1					
	通信工学	3前	2		1						
	情報符号理論	3後	2		1						
	電気通信関係法規	4前	1		1						
小計（8科目）	—	8	7		3	2		1			
エンジニアリングデザイン・実験科目群	工学演習	2後	2			1					
	ロボット工学	3前	2		1						
	電気電子工学実験A	3前	4			1		3		兼1	
	電気電子工学実験B	3後	4			3		2			
	卒業研究	4通	10		7	7		5		兼1	
小計（5科目）	—	20	2		8	7		5		兼1	
合計（110科目）	—	125	81		16	14	2	10		兼52	
卒業要件及び履修方法											
履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値（GPA）が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。											
卒業要件（一般教養教育） 1. 外国語科目7単位以上、人と社会に関する科目14単位以上、合計21単位以上修得すること。 2. 昼間コース一般教養教育科目（本表と同一の外国語科目を除く）の単位を修得した場合は、夜間主コース一般教養教育科目の選択科目に含めることができる。											

力学系科目群	伝熱工学	3後	2					1			
	流体力学Ⅰ	2後	2					1			
	流体力学Ⅱ	3前	2	1							
	推進工学	2後	2		1						
	材料力学Ⅰ	2後	2		1						
	材料力学Ⅱ	3前	2	1							
	航空宇宙構造力学	2後	2		1						
	機械力学Ⅰ	2後	2					1			
	機械力学Ⅱ	3前	2					1			
	小計（10科目）	—	8	12		3	2	1	2		
	システム系科目群	電子回路Ⅰ	2後	2					1		
デジタル回路		3後	2	1							
制御工学		3前	2		1						
計測システム工学		3前	2							兼1	
ロボット工学		3前	2		1						
小計（5科目）		—	2	8		4				兼1	
エンジニアリングデザイン・実験科目群		機械工学概論	3前	1	2	1					
	機構学	2後	2	1							
	機械製作学	3後	2			1					
	機械材料学	3後	2					1			
	機械製図	3前	2		1						
	機械工作法実習	3前	2		1	1					
	機械工学実験	3後	2		8	3	2	4			
	機械工学セミナーA	2後	2		1						
	機械工学セミナーB	3前	2		1						
	卒業研究Ⅰ	4前	4		8	4	2	5			
	卒業研究Ⅱ	4後	6		8	4	2	5			
小計（11科目）	—	20	7		8	4	2	5			
電子物性デバイス科目群	電磁気学	2後	2		1			1			
	電磁気学演習	2後	2		1			1			
	電子物性	2後	2					1			
	半導体工学	3前	2		1						
	電気電子材料	3後	2		1						
小計（5科目）	—	8	2		2			1			
電気エネルギー科目群	電気回路	2後	2			1					
	電気回路演習	2後	2			1					
	電磁エネルギー変換工学	3前	2		1						
	制御工学	3前	2		1						
	原子力工学	4前	1		1						
	電気関係法規・電気施設管理	4前	1		1						
	電気機器設計製図	4前	2			1					
小計（7科目）	—	6	6		2	2		3	1		
計測通信科目群	電子回路Ⅰ	2後	2					1			
	計測システム工学	3前	2		1					兼1	
	デジタル回路	3後	2		1						
	電子回路Ⅱ	3前	2			1					
	信号処理	3前	2			1					
	通信工学	3前	2		1						
	情報符号理論	3後	2		1						
	電気通信関係法規	4前	1		1						
小計（8科目）	—	8	7		4	2		4	2	兼1	
エンジニアリングデザイン・実験科目群	工学演習	2後	2			1					
	ロボット工学	3前	2		1						
	電気電子工学実験A	3前	4			2		2		兼1	
	電気電子工学実験B	3後	4			1	2	1			
	卒業研究	4通	10		8	6		3		兼1	
小計（5科目）	—	20	2		9	6		3		兼1	
合計（110科目）	—	125	81		16	14	2	8		兼54	
卒業要件及び履修方法											
履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値（GPA）が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。											
卒業要件（一般教養教育） 1. 外国語科目7単位以上、人と社会に関する科目14単位以上、合計21単位以上修得すること。 2. 昼間コース一般教養教育科目（本表と同一の外国語科目を除く）の単位を修得した場合は、夜間主コース一般教養教育科目の選択科目に含めることができる。											

卒業要件（理工学部共通科目、創造工学科共通科目） 1. 理工学部共通科目から23単位、創造工学科共通科目から26単位、合計49単位以上修得すること。
卒業要件（創造工学科 夜間主コース 機械系コース） 1. 本表の授業科目のうち、必修科目30単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、航空宇宙工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース電気系コースのコース科目を修得した場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。
卒業要件（創造工学科 夜間主コース 電気系コース） 1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目を修得した場合は、9単位以内に限り選択科目B群の単位数に含めることができる。

卒業要件（理工学部共通科目、創造工学科共通科目） 1. 理工学部共通科目から23単位、創造工学科共通科目から26単位、合計49単位以上修得すること。
卒業要件（創造工学科 夜間主コース 機械系コース） 1. 本表の授業科目のうち、必修科目30単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、航空宇宙工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース電気系コースのコース科目を修得した場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。
卒業要件（創造工学科 夜間主コース 電気系コース） 1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目を修得した場合は、9単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
外国語科目	フレッシュマン英語演習	1前	1									兼2
	英語コミュニケーション演習	1前	1									兼2
	TOEIC英語演習A	1後	1									兼1
	英語リーディング演習	1後	1									兼1
	TOEIC英語演習B	2前	1									兼1
	英語総合演習	2前	1									兼1
	ドイツ語	1前		1								兼1
	中国語	1前		1								兼1
小計（8科目）	—	6	2								兼4	
一般教養教育 人と社会に関する科目	スポーツ実習b	1前		1								兼1
	スポーツ実習d	1後		1								兼1
	臨海実習	1-2-3-4前		1								兼4
	社会体験実習	1-2-3-4前		1		1						兼2
	海外研修	1-2-3-4前・後		1								兼3
	海外語学研修	1-2-3-4前・後		2								兼3
	表現技法	1前		1								兼1
	キャリアデザイン	2後		2								兼1
	地域再生システム論	1前		2			1					兼2
	短期インターンシップ	3前・後		2		2						
	長期インターンシップ	3前・後		3		2						
	哲学入門	1-2前		1								兼1
	現代社会論	1-2後		2								兼1
	こころの科学	1-2前		1								兼1
	現代心理学	1-2後		2								兼1
	経済のしくみ（未開講）	1-2前		1								兼1
	経済事情	1-2後		2								兼1
	平和学（未開講）	1-2前		1								兼1
	日本の憲法	1-2後		2								兼1
	現代民主主義論	1-2後		2								兼1
小計（20科目）	—		31		3	1					兼17	
理工学部共通科目	線形代数A	1前	2									兼1
	線形代数B	1後	2									兼1
	微分積分A	1前	2									兼1
	微分積分B	1後	2									兼1
	微分積分C	2前	2									兼1
	物理学A	1前	2				0		0			兼1
	物理学B	1後	1				2		1			兼5
	物理学C	1後	1				2		1			兼5
	化学	1後		2								兼4
	生物学	1後		2								兼4
	フレッシュマンセミナー	1前	1			2						
小計（11科目）	—	15	4		2	2		1			兼19	
理工学部共通科目 情報科目	情報セキュリティ入門	1前	2									兼4
	データサイエンス入門	1後	2			2	1					兼6
	プログラミング入門	1後	2									兼4
	小計（3科目）	—	6			2	1					兼10

夜間主コース共通科目	専門基礎科目	工業物理基礎実験	2前	1								兼3	
		化学・生物学概論	1前	2									兼1
		電気回路基礎	2前	2			1						
		電磁気学基礎	2前	2		1							
		材料の力学A	2前	1		1							
		材料の力学B	2前	1		1							
		流れの力学A	2前	1		1							
		流れの力学B	2前	1		1							
		熱力学基礎A	2前	1		1							
		熱力学基礎B	2前	1		1	1						
		計測工学	2前	1		1	1						
		工学技術者倫理	3後	2		2							
	小計(12科目)	—	16		7	3						兼4	
	情報科目	統計的データ処理	2後	2			2						兼1
		現代情報学概論	1後	2									兼1
		確率統計	2前	2			1						
		情報システム工学	1後	2									兼1
		プログラミング実践演習	2前	2									兼1
	小計(5科目)	—	10			3						兼3	
	力学系科目群	熱力学	2後	2		1							
伝熱工学		3後	2					1					
流体力学I		2後	2					1					
流体力学II		3前	2		1								
推進工学		2後	2			1							
材料力学I		2後	2		1								
材料力学II		3前	2		1								
航空宇宙構造力学		2後	2			1							
機械力学I		2後	2					1					
機械力学II		3前	2					1					
小計(10科目)		—	8	12		3	2	1	2				
システム系科目群	電子回路I	2後	2						1				
	デジタル回路	3後	2		1								
	制御工学	3前	2		1								
	計測システム工学	3前	2		1								
	ロボット工学	3前	2		1								
小計(5科目)	—	2	8		4				1				
エンジニアリングデザイン・実験科目群	機械工学概論	3前	1		2	1							
	機構学	2後	2		1								
	機械製作学	3後	2					1					
	機械材料学	3後	2						1				
	機械製図	3前	2			1							
	機械工作法実習	3前	2		1			1					
	機械工学実験	3後	2		8	3	2	4					
	機械工学セミナーA	2後	2			1							
	機械工学セミナーB	3前	2			1							
	卒業研究I	4前	4		8	4	2	5					
	卒業研究II	4後	6		8	4	2	5					
小計(11科目)	—	20	7		8	4	2	5					
電気系科目群	電磁気学	2後	2		1								
	電磁気学演習	2後	2		1								
	電子物性	2後	2						1				
	半導体工学	3前	2		1								
	電気電子材料	3後	2		1								
小計(5科目)	—	8	2		2				1				
電気エネルギー科目群	電気回路	2後	2			1							
	電気回路演習	2後	2			1							
	電磁エネルギー変換工学	3前	2		1								
	制御工学	3前	2		1								
	原子力工学	4前	1		1								
	電気関係法規・電気施設管理	4前	1		1								
	電気機器設計製図	4前	2			1							
小計(7科目)	—	6	6		2	2							
計測通信科目群	電子回路I	2後	2						1				
	計測システム工学	3前	2		1								
	デジタル回路	3後	2		1								
	電子回路II	3前	2			1							
	信号処理	3前	2			1							
	通信工学	3前	2		1								
情報符号理論	3後	2		1									
電気通信関係法規	4前	1		1									

	小計（8科目）	—	8	7		3	2		1			
エンジニアリングデザイン 卒業研究	工学演習	2後	2				1					
	ロボット工学	3前		2		1						
	電気電子工学実験A	3前	4				1		3		兼1	
	電気電子工学実験B	3後	4				3		2			
	卒業研究	4通	10			7	7		5		兼1	
	小計（5科目）	—	20	2		8	7		5		兼1	
	合計（110科目）	—	125	81		16	14	2	10		兼52	
卒業要件及び履修方法												
履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値（GPA）が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。												
卒業要件（一般教養教育） 1. 外国語科目7単位以上、人と社会に関する科目14単位以上、合計21単位以上修得すること。 2. 昼間コース一般教養教育科目（本表と同一の外国語科目を除く）の単位を修得した場合は、夜間コース一般教養教育科目の選択科目に含めることができる。												
卒業要件（理工学部共通科目、創造工学科共通科目） 1. 理工学部共通科目から23単位、創造工学科共通科目から26単位、合計49単位以上修得すること。												
卒業要件（創造工学科 夜間主コース 機械系コース） 1. 本表の授業科目のうち、必修科目30単位、選択科目25単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、航空宇宙工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース電気系コースのコース科目を修得した場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。												
卒業要件（創造工学科 夜間主コース 電気系コース） 1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。 3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目を修得した場合は、9単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。												

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

<理工学部 創造工学科>

【令和元年度】

- ・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習 a」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼任の配置を「1」から「4」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学 A」の専任教員等の配置を「准教授 2、助教 1」から「准教授 1、助教 0」及び兼任・兼任の配置を「9」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「フレッシュマンセミナー」の兼任・兼任の配置を「3」から「0」に変更。

【令和 2 年度】

- ・教育内容の充実の理由により、「英語リーディング演習 A」「英語リーディング演習 B」の兼任・兼任の配置を「4」から「7」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「英語総合演習」の兼任・兼任の配置を「8」から「9」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「英語コミュニケーション I」の兼任・兼任の配置を「4」から「6」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「TOEIC 英語演習 I」の兼任・兼任の配置を「4」から「5」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習 a」「スポーツ実習 d」「臨海実習」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習 c」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「地域インターンシップ」「短期インターンシップ」「長期インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 1」から「教授 5」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「日本語 B-1」「日本語 C-1」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「微積分 A」「微積分 B」の兼任・兼任の配置を「4」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学 A」の専任教員等の配置を「准教授 2、助教 1」から「准教授 1、助教 0」及び兼任・兼任の配置を「9」から「3」に変更。
- ・専任准教授昇任及び担当教員の見直しの理由により、「物理学 B」「物理学 C」の専任教員等の配置を「准教授 2、助教 1」から「教授 1、准教授 1、助教 0」及び兼任・兼任の配置を「5」から「2」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「環境科学」の専任教員等の配置を「教授 3、准教授 2」から「教授 4、准教授 1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「フレッシュマンセミナー」の兼任・兼任の配置を「3」から「1」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「電気回路基礎」の専任教員等の配置を「教授 0、准教授 4」から「教授 2、准教授 2」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「電磁気学基礎」の兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「材料の力学 A」の専任教員等の配置を「准教授 1、助教 0」から「准教授 1、助教 1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「材料の力学 B」の専任教員等の配置を「教授 1、准教授 1、助教 1」から「教授 1、助教 2」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「工学概論」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 3」から「教授 3、准教授 2」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「工学技術者倫理」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 2」から「教授 5、准教授 1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「統計的データ処理」の専任教員等の配置を「准教授 3、助教 2」から「准教授 3、助教 1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「現代情報学概論」の兼任・兼任の配置を「4」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「確率統計」の専任教員等の配置を「教授 1、准教授 3、助教 2」から「教授 2、准教授 3、助教 1」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「土工学概論」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 1」から「教授 3、准教授 0」に変更。
- ・専任助教及び准教授昇任の理由により、「建築学概論」「建築学演習 I」「建築学演習 II」の専任教員等の配置を「教授 1、准教授 5、助教 3」から「教授 2、准教授 5、助教 2」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「都市計画」「建築設計 I」の専任教員等の配置を「教授 0、准教授 2」から「教授 1、准教授 1」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「空間の環境」「都市マネジメント」「土質力学 I」「防災地盤工学」「振動工学」「鋼構造学」「設計製作演習」「電気回路」「電力発生工学」「電気機器学」「電気機器設計製図」の専任教員等の配置を「教授 0、准教授 1」から「教授 1、准教授 0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「建設構造力学」の専任教員等の配置を「准教授 0、講師 1」から「准教授 1、講師 0」に変更。
- ・専任助教及び准教授昇任並びに担当教員の見直しの理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 11、講師 1、助教 4」から「教授 7、准教授 9、講師 0、助教 3」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「建築環境工学 I」「航空宇宙制御工学 I」の専任教員等の配置を「教授 0、助教 1」から「教授 1、助教 0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「建築環境工学 II」「建築設備」「寒地建築環境工学」の専任教員等の配置を「助教 1」から「助教 0」及び兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「建築材料実験」の専任教員等の配置を「教授 1、助教 0」から「教授 1、助教 1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「建築構造力学 I」の専任教員等の配置を「准教授 1、助教 0」から「准教授 1、助教 1」に変更。
- ・専任助教昇任の理由により、「建築構造力学 II」「基礎構造」の専任教員等の配置を「准教授 0、助教 1」から「准教授 1、助教 0」に変更。
- ・専任助教昇任の理由により、「建築構造設計演習」「建築法規」「工学演習 II」の専任教員等の配置を「准教授 1、助教 1」から「准教授 2、助教 0」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「建築学演習 II」の専任教員等の配置を「教授 1、准教授 1」から「教授 2、准教授 0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「建築測量実習」の専任教員等の配置を「教授 1、助教 0」から「教授 0、助教 1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「土木構造力学 I」「土木構造力学 II」「応用構造力学」の専任教員等の配置を「教授 0、講師 1」から「教授 1、講師 0」に変更。
- ・専任准教授昇任及び担当教員の見直しの理由により、「土工学創造演習」「維持管理工学」の専任教員等の配置を「准教授 2、講師 1」から「教授 1、准教授 1、講師 0」に変更。
- ・専任准教授昇任及び担当教員の見直しの理由により、「土木実験」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 3、助教 1」から「教授 3、准教授 2、助教 0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「飛行力学 II」の専任教員等の配置を「准教授 1、助教 1」から「教授 1、准教授 1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「航空宇宙構造工学 II」の専任教員等の配置を「教授 1」から「教授 0」及び兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙機械力学」の専任教員等の配置を「教授 0、准教授 0、助教 1」から「教授 1、准教授 1、助教 0」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「ロケット工学」の専任教員等の配置を「教授 2、助教 1」から「教授 1、助教 1」及び兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）及び担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙工学製図」の専任教員等の配置を「教授 1、助教 2」から「教授 0、助教 1」及び兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「航空宇宙工学特別講義」の専任教員等の配置を「教授 3」から「教授 2」及び兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）及び担当教員の見直しの理由により、「宇宙機設計法」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 3、助教 3」から「教授 3、准教授 3、助教 1」及び兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙工学実験」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授 1、助教 2」から「教授 3、准教授 1、助教 0」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）及び担当教員の見直しの理由により、「航空宇宙工学セミナー」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 4、助教 3」から「教授 3、准教授 4、助教 1」及び兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）及び担当教員の見直しの理由により、「卒業研究 I」「卒業研究 II」の専任教員等の配置を「教授 4、准教授 4、助教 3」から「教授 3、准教授 4、助教 1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「電磁気学演習」の専任教員等の配置を「教授 1、助教 2」から「教授 1、助教 1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「電子物性」の専任教員等の配置を「教授 1、准教授 0」から「教授 1、准教授 1」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「電気回路演習」の専任教員等の配置を「教授 0、准教授 1、助教 2」から「教授 1、准教授 0、助教 2」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「計測システム工学」の専任教員等の配置を「教授 1」から「教授 0」及び兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任助教昇任の理由により、「電気電子工学実験 A」の専任教員等の配置を「准教授 1、助教 3」から「准教授 2、助教 2」に変更。
- ・専任准教授昇任及び担当教員の見直しの理由により、「電気電子工学実験 B」の専任教員等の配置を「教授 0、准教授 3、助教 2」から「教授 1、准教授 2、助教 1」に変更。
- ・専任助教及び准教授昇任並びに担当教員の見直しの理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授 7、准教授 7、助教 5」から「教授 8、准教授 6、助教 3」に変更。

<理工学部 創造工学科（夜間主コース）>

【令和元年度】

- ・教育内容の充実の理由により、「フレッシュマン英語演習」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「英語コミュニケーション演習」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼任の配置を「1」から「4」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「准教授0、助教0」及び兼任・兼任の配置を「9」から「1」に変更。

【令和2年度】

- ・教育内容の充実の理由により、「TOEIC英語演習B」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習d」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「准教授0、助教0」及び兼任・兼任の配置を「9」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学B」「物理学C」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「准教授0、助教1」及び兼任・兼任の配置を「5」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「工業物理基礎実験」の兼任・兼任の配置を「3」から「2」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「電気回路基礎」「電気機器設計製図」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「熱力学基礎B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「電子回路I」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「計測システム工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「電磁気学」「電磁気学演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・専任助教昇任の理由により、「電子物性」の専任教員等の配置を「准教授0、助教1」から「准教授1、助教0」に変更。
- ・専任助教昇任の理由により、「電気電子工学実験A」の専任教員等の配置を「准教授1、助教3」から「准教授2、助教2」に変更。
- ・担当教員の見直し及び専任准教授昇任の理由により、「電気電子工学実験B」の専任教員等の配置を「教授0、准教授3、助教2」から「教授1、准教授2、助教1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）、専任准教授及び専任助教の昇任並びに担当教員の見直しの理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7、准教授7、助教5」から「教授8、准教授6、助教3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

<理工学部 創造工学科>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
142 科目	118 科目	0 科目	260 科目	142 科目 [0]	118 科目 [0]	0 科目 [0]	260 科目 [0]	

<理工学部 創造工学科（夜間主コース）>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
62 科目	48 科目	0 科目	110 科目	62 科目 [0]	48 科目 [0]	0 科目 [0]	110 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	哲学入門	1	1・2前	一般	選択	隔年開講のため
2	現代社会論	2	1・2後	一般	選択	隔年開講のため
3	こころの科学	1	1・2前	一般	選択	隔年開講のため
4	現代心理学	2	1・2後	一般	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は、全て隔年開講科目であり、次年度以降の開講により履修が可能である。
 なお、学生に対しては、入学時に配布する学生便覧にて「西暦奇数年度開講科目」及び「西暦偶数年度開講科目」を示し、当該年度の開講科目等について周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{370} = \boxed{1.08} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	121,138㎡	0㎡	0㎡	121,138㎡			
	運動場用地	25,279㎡	0㎡	0㎡	25,279㎡			
	小 計	146,417㎡	0㎡	0㎡	146,417㎡			
	そ の 他	67,851㎡	0㎡	0㎡	67,851㎡			
合 計	214,268㎡	0㎡	0㎡	214,268㎡				
(2) 校 舎	専 用	70,004㎡ (70,074㎡)			70,004㎡ (70,074㎡)	教育・研究3号館の改修に伴う取り壊しにより18㎡減少した(2)		
	70,022㎡ (70,092㎡)				70,022㎡ (70,092㎡)	教育・研究3号館減り廊下69.86㎡整備予定(元)		
	70,022㎡ (70,022㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	70,022㎡ (70,022㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	3-3室	2-5室	5-9室	6室	0室	教育・研究3号館の改修に伴う転用等及び教員の入替等による用途変更(2)	
	3-4室	2-6室	5-5室				教育・研究3号館の改修に伴う転用等及び教員の入替等による用途変更(元)	
	4-5室	1-2室	5-9室	(補助職員 5人)	(補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	理工学部 創造工学科		128	室			専任教員7名退職及び辞職、3名採用のため(2)	
			133	室			専任教員2名辞任のため(元)	
			135	室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
	理工学部	323,193 [86,712] (313,780 [84,186])	6,127 [2,190] (6,127 [2,190])	3,991 [3,987] (3,991 [3,987])	4,107 (3,987)	295 (295)		図書・設備等更新のため(2)
		326,346 [87,565] (312,833 [84,186])	6,086 [2,184] (6,086 [2,184])	4,005 [4,001] (4,005 [4,001])	4,112 (3,954)	290 (0)		図書・設備等更新のため(元)
		331,915 [86,441] (323,527 [85,441])	6,072 [2,182] (6,072 [2,182])	4,536 [3,971] (4,536 [3,971])	4,462 (4,032)	276 (276)	1 (1)	
	計	323,193 [86,712] (313,780 [84,186])	6,127 [2,190] (6,127 [2,190])	3,991 [3,987] (3,991 [3,987])	4,107 (3,987)	295 (295)		
	326,346 [87,565] (312,833 [84,186])	6,086 [2,184] (6,086 [2,184])	4,005 [4,001] (4,005 [4,001])	4,112 (3,954)	290 (0)			
	331,915 [86,441] (323,527 [85,441])	6,072 [2,182] (6,072 [2,182])	4,536 [3,971] (4,536 [3,971])	4,462 (4,032)	276 (276)	1 (1)		
(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	4,141㎡	374		323,472				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,856㎡	テニスコート、弓道場、アーチェリー場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	室 蘭 工 業 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
工学部	4	-	3年次40人	1280	-	-	-	-	昭和24	-	
建築社会基盤系学科	4	-	3年次10	240	学士(工学)	-	-	-	平成21	北海道室蘭市水元町27番1号	平成31年4月学生募集停止(3年次編入学生を除く)学年進行により定員△110
機械航空創造系学科	4	-	3年次10	340	学士(工学)	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止(3年次編入学生を除く)学年進行により定員△160
応用理化学系学科	4	-	3年次10	280	学士(工学)	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止(3年次編入学生を除く)学年進行により定員△130
情報電子工学系学科	4	-	3年次10	420	学士(工学)	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止(3年次編入学生を除く)学年進行により定員△200
理工学部	4	600	-	1200	-	1.05	1.06	平成31	平成31	-	
創造工学科	4	365	-	730	学士(工学)	1.05	1.04	平成31	平成31	北海道室蘭市水元町27番1号	
システム理化学科	4	235	-	470	学士(理工学)	1.07	1.08	平成31	平成31	同上	
工学研究科(博士前期課程)	2	224	-	448	-	1.08	1.02	-	昭和40	-	
環境創生工学系専攻	2	73	-	146	修士(工学)	1.22	1.15	-	平成26	北海道室蘭市水元町27番1号	
生産システム工学系専攻	2	84	-	168	修士(工学)	1.00	0.9	-	平成26	同上	
情報電子工学系専攻	2	67	-	134	修士(工学)	1.03	1.04	-	平成26	同上	
工学研究科(博士後期課程)	3	15	-	45	-	1.46	0.86	-	平成2	-	
工学専攻	3	15	-	45	博士(工学)	1.46	0.86	-	平成26	北海道室蘭市水元町27番1号	
大学全体	-	839	40	2973	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・廣田 光智専任准教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・栗橋 祐介専任講師退職のため、削除。
- ・岸本 (猿山) 嘉彦専任助教退職のため、削除。
- ・田湯 善章専任助教の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・岸本 弘立兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・桃野 直樹兼担教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・吉田 雅典兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・前田 潤兼担教授の担当授業科目に「地域社会概論」を追加。
- ・澤口 直哉兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・柴山 義行兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・矢野 隆治兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・葛谷 俊博兼担教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・安居 光國兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・本田 泰兼担教授の担当授業科目から「フレッシュマンセミナー」を削除。
- ・田所 重紀兼担教授昇任のため、兼担教授に変更。
- ・山路奈保子兼担教授昇任のため、兼担教授に変更。
- ・阿知良洋平兼担講師の担当授業科目から「地域社会概論」を削除。
- ・大口 喜久男兼任講師を配置し、授業科目「スポーツ実習a」を担当。
- ・成田 正則兼任講師を配置し、授業科目「スポーツ実習a」を担当。
- ・本村 泰三兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
- ・長里 千香子兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
- ・市原 健介兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
- ・Polard, Shane David兼任講師を配置し、授業科目「フレッシュマン英語演習」「英語コミュニケーション演習」を担当。

【令和2年度】

- ・北沢 祥一専任教授の担当授業科目に「確率統計」を追加。令和2年1月A C教員審査済み。
- ・樋口 健専任教授辞任(定年による退職)のため、兼任講師に変更。
- ・担当授業科目から「材料の力学B」「航空宇宙構造工学I」「卒業研究I」「卒業研究II」を削除。
- ・酒井 彰専任教授辞任(定年による退職)のため、兼任講師に変更。担当授業科目から「卒業研究」を削除。
- ・有村 幹治専任准教授の担当授業科目から「統計的データ処理」を削除。
- ・市村 恒士専任准教授昇任のため、専任教授に変更。令和元年11月A C教員審査済み。
- ・川村 志麻専任准教授昇任のため、専任教授に変更。令和元年11月A C教員審査済み。
- ・小室 雅人専任准教授昇任のため、専任教授に変更。令和元年11月A C教員審査済み。
- ・高瀬 裕也専任准教授の担当授業科目から「建築構造力学I」を削除。
- ・廣田 光智専任准教授の担当授業科目から「工業物理基礎実験」を削除。
- ・川口 秀樹専任准教授昇任のため、専任教授に変更。平成31年4月A C教員審査済み。
- ・渡邊 浩太専任准教授昇任のため、専任教授に変更。担当授業科目に「電磁気学基礎」を追加。平成31年4月A C教員審査済み。
- ・永井 宏専任助教昇任のため、専任准教授に変更。平成31年4月A C教員審査済み。
- ・勝又 暢久専任助教退職のため、削除。
- ・高久 雄一専任助教退職のため、削除。
- ・川村 幸裕専任助教昇任のため、専任准教授に変更。担当授業科目に「電磁気学」「電磁気学演習」を追加。令和2年1月A C教員審査済み。
- ・佐藤 慎悟専任助教退職のため、削除。
- ・令和2年4月金 志訓専任助教就任。令和2年1月A C教員審査済み。
- ・桃野 直樹兼担教授の担当授業科目から「物理学B」「物理学C」を削除。
- ・飯島 徹兼担教授の担当授業科目から「物理学B」「物理学C」を削除。
- ・岸上 順一兼担教授辞任(定年による退職)及び特任教授就任のため、兼任教授に変更。担当授業科目から「現代情報学概論」を削除。
- ・塩谷 亨兼担教授の担当授業科目から「TOEIC英語演習I」を削除し、「TOEIC英語演習B」を追加。
- ・橋本 邦彦兼担教授の担当授業科目に「TOEIC英語演習B」を追加。
- ・磯田 広史兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・矢野 隆治兼担教授の担当科目見直しのため、「物理学A」を追加。
- ・須藤 秀紹兼担教授昇任のため、兼担教授に変更。
- ・董 聖雄兼担教授昇任のため、兼担教授に変更。
- ・内免 大輔兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・小野 真嗣兼担教授の担当授業科目から「日本語B-2」を削除し、「日本語C-1」「日本語A-2」「日本語C-2」を追加。
- ・上村 浩信兼担教授の担当授業科目から「スポーツ実習c」を削除。
- ・Brian Gaynor兼担教授の担当授業科目から「英語コミュニケーション演習」「TOEIC英語演習A」「TOEIC英語演習B」「英語リーディング演習」を削除。
- ・島田 武兼担教授の担当授業科目に「TOEIC英語演習B」を追加。
- ・田所 重紀兼担教授の担当授業科目から「医の科学」を削除。
- ・Hagley Eric Thomas兼担教授退職のため、削除。
- ・三村 竜之兼担教授の担当授業科目から「TOEIC英語演習I」を削除。
- ・山路奈保子兼担教授の担当授業科目から「日本語A-2」「日本語C-2」を削除し、「日本語B-1」「日本語B-2」を追加。
- ・金 新哲兼担助教改姓。
- ・柴田 傑兼担助教退職のため、削除。
- ・馬渡 康輝兼担助教昇任のため、兼担教授に変更。
- ・楠本 賢太兼担助教を配置し、授業科目「フレッシュマンセミナー」「熱力学基礎B」を担当。
- ・高岡 旭兼担助教を配置し、授業科目「プログラミング実践演習」を担当。
- ・大口 喜久男兼任講師の担当授業科目に「スポーツ実習c」「スポーツ実習d」を担当。
- ・成田 正則兼任講師の担当授業科目に「スポーツ実習c」「スポーツ実習d」を担当。
- ・本村 泰三兼任講師辞任(定年による退職)のため削除。
- ・Polard, Shane David兼任講師の担当授業科目から「英語コミュニケーション演習」を削除し、「英語コミュニケーション演習I」を追加。
- ・深澤 陽子兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」を担当。
- ・高久 裕子兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」「英語総合演習」を担当。
- ・劉 冠 偉兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」「TOEIC英語演習I」を担当。
- ・辻本 篤兼任講師を配置し、授業科目「英語総合演習」「TOEIC英語演習A」を担当。
- ・プロドスキー・ジャック兼任講師を配置し、授業科目「英語コミュニケーションI」「英語リーディング演習」「英語総合演習」を担当。
- ・福澤 純兼任講師を配置し、授業科目「医の科学」を担当。
- ・ジョンソン陽子兼任講師を配置し、授業科目「英語コミュニケーションI」を担当。
- ・原田 エスメラルダ兼任講師を配置し、授業科目「英語コミュニケーション演習」を担当。
- ・佐藤 直飛兼任講師を配置し、授業科目「微分積分A」「微分積分B」を担当。
- ・桂田 英典兼任講師を配置し、授業科目「微分積分C」を担当。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
35	18
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
23	26	3	17	69	26	23	2	12	63
(23)	(26)	(3)	(16)	(68)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
26	23	2	12	63	26	23	2	12	63
[3]	[Δ3]	[Δ1]	[Δ5]	[Δ6]	[3]	[Δ3]	[Δ1]	[Δ5]	[Δ6]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{63}{69} = \boxed{91.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{63} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	助教	岸本 嘉彦	H31.03	必修	建築学概論	③	H31.03.31付け他大学へ異動のため辞任（31）							
				必修	卒業研究	③								
				必修	建築環境工学Ⅰ	③								
				必修	建築環境工学Ⅱ	③								
				必修	建築設備	③								
				必修	建築学演習Ⅰ	③								
				必修	建築学演習Ⅲ	③								
				選択	寒地建築環境工学	③								
合計（D）				後任補充状況の集計（E）										
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計（a）+（b）+（c）										
				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）						
1	人	必修		7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	7	科目
		選択		1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		8	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	8	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	栗橋 祐介	H31.04	必修	建設構造力学	③	H31.04.30付け他大学へ異動のため辞任（31）
				必修	卒業研究	③	
				必修	土木構造力学Ⅰ	③	
				必修	土木構造力学Ⅱ	③	
				必修	土木工学創造演習	③	
				必修	土木実験	③	
				選択	応用構造力学	③	
	選択	維持管理工学	③				
2	助教	佐藤 慎吾	R2.03	必修	電磁気学演習	③	R2.03.31付け民間企業へ就職のため辞任（2）
				必修	電気電子工学実験B	③	
				必修	卒業研究	③	
				必修	電子回路Ⅰ	①	
3	助教	勝又 暢久	R2.03	必修	材料の力学B	①	R2.03.31付け他大学へ異動のため辞任（2）
				必修	航空宇宙機械力学	①	
				必修	航空宇宙工学製図	③	
				必修	航空宇宙工学実験	③	
				必修	航空宇宙工学セミナー	③	
				選択	宇宙機設計法	③	
				必修	卒業研究Ⅰ	③	
	必修	卒業研究Ⅱ	③				
4	助教	高久 雄一	R2.03	必修	統計的データ処理	①	R2.03.31付け任期満了のため辞任（2）
				必修	確率統計	①	
				必修	応用解析学Ⅰ	③	
				必修	応用解析学Ⅱ	③	
				選択	飛行力学Ⅱ	①	
				必修	航空宇宙制御工学Ⅰ	①	
				必修	航空宇宙工学実験	③	
				必修	航空宇宙工学セミナー	③	
				選択	宇宙機設計法	③	
必修	卒業研究Ⅰ	③					
	必修	卒業研究Ⅱ	③				

合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4 人	必修	26 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	20 科目
	選択	5 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	4 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	31 科目	計	7 科目	計	0 科目	計	24 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
5 人	必修	33 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	27 科目
	選択	6 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	5 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	39 科目	計	7 科目	計	0 科目	計	32 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{5}{69} = \boxed{7.24} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	樋口 健	必修	材料の力学B	①	R2.03.31付け65歳で定年退職 (2)			
			選択	ロケット工学	②				
			必修	航空宇宙構造工学I	③				
			必修	航空宇宙構造工学II	②				
			必修	航空宇宙工学製図	②				
			必修	航空宇宙工学セミナー	②				
			必修	航空宇宙工学特別講義	②				
			選択	宇宙機設計法	②				
			必修	卒業研究I	③				
2	教授	酒井 彰	必修	卒業研究II	③	R2.03.31付け65歳で定年退職 (2)			
			必修	電磁気学基礎	②				
			必修	計測システム工学	②				
			必修	卒業研究	③				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	11 科目	必修	1 科目	必修	6 科目	必修	4 科目
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	1 科目	計	8 科目	計	4 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和2年度開講科目については、後任補充として他の専任教員への担当科目の追加(前期開講:AC教員審査済み、後期開講:AC教員審査受審予定)や兼任兼担教員が担当することとしており、教育上の支障はない。
令和3年度以降の開講科目については、後任補充として他の専任教員への担当科目の追加や新規採用について早期に検討し、開講に影響のないよう準備する。
また、学生には、開講年度のシラバス等において担当教員名を周知予定。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

【令和元年度】

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>養成する人材像とディプロマ・ポリシーの「強靱性」について、強くてしなやかという通常の意味とは異なる意味で用いている。学生や社会一般に誤解を与えないよう、本学の考える「強靱性」の内容について、学生募集時や広報活動の際に十分周知すること。</p>	<p>「強靱性」とは、技術革新や社会環境の変化が速い産業界において、自らの能力を発揮できる強さ・しなやかさを持つことを示しており、変化が速い産業界において能力を発揮するためには、ひとつの専門にとらわれずに幅広い基礎知識と情報技術、複数の専門知識を修得することで、多様な困難に対して広い視野で対応できるようになり、このような人材を「強さ・しなやかさ」を持った人材として捉えている。</p> <p>このことを学生募集、広報活動の際に、学生に誤解のないよう十分説明を行うとともに、理工学部紹介用資料を作成し、設置の趣旨や必要性、理工学部の教育の特徴などと併せて、本学が養成する人材像等について、より理解が深まるよう一部表現を以下のとおり改め、配付した。</p> <p>遵守事項</p> <p>養成する人材像 (強靱性と俯瞰力) 旧) 自身の幅広い基礎知識と基本の情報技術を身に付け、多様な困難を俯瞰的に捉えて対応できる科学技術者 新) 幅広い基礎知識と基本の情報技術を身に付けて実社会に活かす能力を修得し、多様な困難に、広い視野で柔軟に対応できる科学技術者</p> <p>また、学生や社会一般に向けて、本学HPにおいても上記と同様に養成する人材像、ディプロマ・ポリシーを掲載し、周知している。</p> <p>履行済</p>	

<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>シラバスにアクティブラーニングについて記述する欄を設けているが、例えば予習・復習など、アクティブラーニングではない内容が記述されている。シラバスにおける記述として適切ではないため、アクティブラーニングを行わない科目における記述を削除すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>シラバスに記述するアクティブラーニングに関する項目を見直し、予習復習に係る内容は記述しないこととした。また、当該変更については、「シラバス記入上の注意・シラバス記入例」に反映し、教員に周知した。さらに、シラバス公開前にシラバス担当ワーキンググループによるシラバス点検を2回行い、「シラバス記入上の注意・シラバス記入例」に沿った記述になっていることを確認後、シラバスを公開した。</p> <p>参考資料：シラバス抜粋参照</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>「情報セキュリティ入門」については、情報セキュリティの基礎となる考え方を理解するとともに、インターネットやパソコンの安全な利用方法を習得させるとしているが、「安全な利用方法」の習得は利用者側の観点に立った内容（情報リテラシー）となっている。「情報セキュリティ」という名称の科目であれば、OS、ソフトウェア及びネットワークなどのセキュアな構成技術やマルウェア対策などの内容を加えることが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>当該科目で取り扱う内容を見直し、以下の内容について授業を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1_スマートフォンとその脅威、権利関係法規、個人情報、マルウェア対策 2_電子的なコミュニケーションの基礎、電子メールのセキュリティ 3_インターネットサービスとその脅威、クラウドセキュリティ 4_情報管理方法、リスクアセスメントとリスク対応 5_情報セキュリティと情報機器の管理技術 6_セキュリティ技術その1：Wifi、暗号化、IPプロトコルの仕組みと暗号化、Wifi調査 7_セキュリティ技術その2：セキュアなシステム構築（OS、ソフトウェア、ネットワーク）、電子署名、認証基盤 	<p>履行済</p>	

【令和2年度】

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>該当なし</p>			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 創造工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 令和2年度学部学年暦 前期授業日：4月8日～7月29日	① 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、令和2年度における授業開始日を延期。 前期授業日：4月22日～8月10日
② 授業計画（シラバス）の変更 令和2年度前期開講科目（一部） 授業実施方法…面接授業 成績評価手法…一斉に実施する定期試験	② 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoomを用いた遠隔（オンライン）授業で実施。 授業実施方法…遠隔授業 成績評価手法…レポート、課題

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 <ul style="list-style-type: none"> a 委員会の設置状況 室蘭工業大学理工学人材育成本部の下にFD・AL部門を有する教育推進支援センターを設置 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">1回目</td> <td style="width: 25%;">令和元年6月25日（火）</td> <td style="width: 25%;">参加委員10/11名</td> <td style="width: 25%;">5回目</td> <td style="width: 25%;">令和元年7月25日（木）</td> <td style="width: 25%;">参加委員10/11名</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>令和元年6月28日（金）</td> <td>参加委員6/11名</td> <td>6回目</td> <td>令和元年9月13日（金）</td> <td>参加委員10/11名</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>令和元年7月2日（火）</td> <td>参加委員10/11名</td> <td>7回目</td> <td>令和元年10月28日（月）</td> <td>参加委員9/11名</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>令和元年7月11日（木）</td> <td>参加委員11/11名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> c 委員会の審議事項等 FDの企画、立案及び実施に関すること。アクティブラーニングの推進に関すること。 その他授業科目の教育内容及び方法等の向上に関すること。 	1回目	令和元年6月25日（火）	参加委員10/11名	5回目	令和元年7月25日（木）	参加委員10/11名	2回目	令和元年6月28日（金）	参加委員6/11名	6回目	令和元年9月13日（金）	参加委員10/11名	3回目	令和元年7月2日（火）	参加委員10/11名	7回目	令和元年10月28日（月）	参加委員9/11名	4回目	令和元年7月11日（木）	参加委員11/11名			
1回目	令和元年6月25日（火）	参加委員10/11名	5回目	令和元年7月25日（木）	参加委員10/11名																			
2回目	令和元年6月28日（金）	参加委員6/11名	6回目	令和元年9月13日（金）	参加委員10/11名																			
3回目	令和元年7月2日（火）	参加委員10/11名	7回目	令和元年10月28日（月）	参加委員9/11名																			
4回目	令和元年7月11日（木）	参加委員11/11名																						
② 実施状況 <ul style="list-style-type: none"> a 実施内容 教育ワークショップ（FDワークショップ）、FD講演会、教員相互の授業参観 等 b 実施方法 ワークショップ形式、講演会、授業参観等の本学教職員を対象としたFDの実施 c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和元年度の実施状況は以下のとおりであり、令和2年度も継続的にFDを実施する予定である。 <ul style="list-style-type: none"> ・FDワークショップ（9/17-18実施_参加者20名（他大学参加者1名を含む）） ・FD講演会（11/21実施_参加者42名、1/23実施_参加者32名） ・教員相互の授業参観（6月実施_参加者のべ112名、11月実施_参加者のべ82名） 																								

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
各FD終了後にアンケートを実施。参加者の満足度や要望等を分析し、次回以降の同活動の改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
学生による授業評価アンケートを毎期最終週に紙面にて実施
- b 教員や学生への公開状況、方法等
大学Webサイト上で公開

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成に向けて、計画どおり順調に進捗している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定（検討中）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和元年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援機構・学位授与機構）の評価を受審した。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人室蘭工業大学

(2) 大学名 室蘭工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒050-8585
北海道室蘭市水元町27番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(クガ ヨシカズ) 空閑 良壽 (平成27年4月)		
学科長等	(ヨシダ マサノリ) 吉田 雅典 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 システム理化学科 学士（理工学）	理学関係 工学関係	4 年	235 人	15 3年次 人	970 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	235人 (-) [-]	-人	235人 (-) [-]	-人	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.06倍	-	
志願者数	591 (-) [27]	-	861 (-) [28]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	546 (-) [27]	-	800 (-) [28]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	299 (-) [27]	-	296 (-) [18]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	247 (-) [10]	-	254 (-) [8]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.05		1.08										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様に行ってください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	247 [10] (-)	— [-] (-)	255 [10] (-)	— [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		246 [9] (-)	— [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()	[] ()	[] ()
計			247 [10] (-)		501 [19] (-)				[] ()		[] ()

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	247 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	501 人	1 人	令和元年度	1 人	1 人	[他大学へ進学]
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
合 計		1 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{247} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{501} = \boxed{0.19} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の退学者数(a)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

ス	物理物質・応用	応用力学B	3前	1						兼1	
		量子物質科学A	3後	1		1					
		量子物質科学B	3後	1		1					
		量子物質科学C	3後	1		1					
		量子物質科学D	3後	1		1					
		光物理学A	3後	1					1		
		光物理学B	3後	1		1					
		材料科学A	3前	1		1					
		材料科学B	3前	1						兼1	
		材料科学C	3後	1		1					
		材料科学D	3後	1		1					
		物理物質工場見学	2後	1		1					
		小計(15科目)	—	2	13	5	2		2	兼1	
		実験等	物理物質学実験A	3前	2			1		2	
			物理物質学実験B	3後	2			1		2	
	ゼミナール		4通	2			6	5	4	兼1	
	卒業研究		4通	8			6	5	4	兼1	
	小計(4科目)		—	14			6	5	4	兼1	
	物理化学系	物理化学A	2後	2			1				
		物理化学B	2後	2			1				
物理化学C		3前	2		1						
化学基礎演習A		3前	1		1						
物理化学D		3後	2		1						
化学基礎演習B		3後	1			1					
高分子化学A		3後	1		1						
高分子化学B		3後	1		1						
物理化学実験		3前	1			1		1			
小計(9科目)		—	5	8		3	2		1		
無機・分析化学系	無機化学A	3前	1			1					
	無機化学B	3前	1			1					
	環境化学	3後	2			1					
	分析化学および実験	3前	3			1		1	兼1		
	小計(4科目)	—	3	4			2		1		
有機化学系	有機化学A	2後	2			1					
	有機化学B	2後	2			1					
	有機化学C	3前	2					1			
	有機化学D	3前	2		1						
	有機合成化学	3後	2		1						
	有機化学演習	3後	1		2	1		1			
	有機構造解析学	4前	2			1					
	有機化学実験	3後	1		2	1		1			
	小計(8科目)	—	5	9		2	1		1		
生物化学・生物系	生化学A	2後	2			1					
	生化学B	2後	2			1					
	微生物科学A	2後	2		1						
	微生物科学B	3前	2		1						
	分子生物学A	3前	1		1						
	分子生物学B	3前	1		1						
	細胞生物学	3前	2			1					
	応用微生物学	3後	2		1	1					
	バイオ演習	3後	1		1	1					
	生物システム科学	4前	2		1	1					
	生物化学実験	3後	1			1		1			
小計(11科目)	—	5	13		2	5		1			
化学生物応用	輸送現象論	2後	2			1					
	安全管理	3前	1			1					
	流れ学A	3前	2			1					
	流れ学A演習	3前	1		1						
	流れ学B	3後	2			1					
	流れ学B演習	3後	1			1					
	化学反応操作	3前	2			1					
	物質分離操作	3後	2			1					
	化学プロセス制御	3後	2			1					
	化学プロセス生産論および実験実習	3後	3			1		2			
	企業見学	3前	1			1					
	化学生物プレゼンテーション技法	3後	1				2				
	食品科学	4前	1			1					
	材料科学	4前	1			2					
食品生産論	4前	1			1						

ス	物理物質・応用	応用力学B	3前	1						兼1	
		量子物質科学A	3後	1			1				
		量子物質科学B	3後	1			1				
		量子物質科学C	3後	1			1				
		量子物質科学D	3後	1			1				
		光物理学A	3後	1					1		
		光物理学B	3後	1			1				
		材料科学A	3前	1		1					
		材料科学B	3前	1						兼1	
		材料科学C	3後	1		1					
		材料科学D	3後	1		1					
		物理物質工場見学	2後	1		1					
		小計(15科目)	—	2	13		5	2		2	兼1
		実験等	物理物質学実験A	3前	2			1		2	
			物理物質学実験B	3後	2			1		2	
	ゼミナール		4通	2			6	5	4	兼1	
	卒業研究		4通	8			6	5	4	兼1	
	小計(4科目)		—	14			6	5	4	兼1	
	物理化学系	物理化学A	2後	2			1				
		物理化学B	2後	2			1				
物理化学C		3前	2						兼1		
化学基礎演習A		3前	1		1						
物理化学D		3後	2		1						
化学基礎演習B		3後	1			1					
高分子化学A		3後	1		1						
高分子化学B		3後	1		1						
物理化学実験		3前	1			1		1			
小計(9科目)		—	5	8			2	2		1	兼1
無機・分析化学系	無機化学A	3前	1			1					
	無機化学B	3前	1			1					
	環境化学	3後	2			1					
	分析化学および実験	3前	3			1		1	兼1		
	小計(4科目)	—	3	4				2	1	兼1	
有機化学系	有機化学A	2後	2			1					
	有機化学B	2後	2			1					
	有機化学C	3前	2					1			
	有機化学D	3前	2		1						
	有機合成化学	3後	2		1						
	有機化学演習	3後	1		2	1		1			
	有機構造解析学	4前	2			1					
	有機化学実験	3後	1		2	1		1			
	小計(8科目)	—	5	9		2	1		1		
生物化学・生物系	生化学A	2後	2			1					
	生化学B	2後	2			1					
	微生物科学A	2後	2		1						
	微生物科学B	3前	2		1						
	分子生物学A	3前	1		1						
	分子生物学B	3前	1		1						
	細胞生物学	3前	2			1					
	応用微生物学	3後	2		1	1					
	バイオ演習	3後	1		1	1					
	生物システム科学	4前	2		1	1					
	生物化学実験	3後	1			1		1			
小計(11科目)	—	5	13		2	5		1			
化学生物応用	輸送現象論	2後	2			1					
	安全管理	3前	1			1					
	流れ学A	3前	2			1					
	流れ学A演習	3前	1		1						
	流れ学B	3後	2			1					
	流れ学B演習	3後	1			1					
	化学反応操作	3前	2			1					
	物質分離操作	3後	2			1					
	化学プロセス制御	3後	2			1					
	化学プロセス生産論および実験実習	3後	3			1		2			
	企業見学	3前	1			1					
	化学生物プレゼンテーション技法	3後	1				2				
	食品科学	4前	1			1					
	材料科学	4前	1			2					
食品生産論	4前	1			1						

6. 専任教員17名、准1名、兼任1名、合計19名、合計129単位以上修得すること。

6. 専任教員17名、准1名、兼任1名、合計19名、合計129単位以上修得すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	フレッシュマン英語演習	1前	1									兼8
	英語リーディング演習A	1後	1									兼4
	英語リーディング演習B	2前	1									兼4
	英語総合演習	2後	1									兼8
	英語コミュニケーションⅠ	2前・後	1									兼4
	英語コミュニケーションⅡ	3前		1								兼2
	TOEIC英語演習Ⅰ	1後	1									兼4
	TOEIC英語演習Ⅱ	3前	2									兼4
	ドイツ語	1前・後		1								兼1
	中国語	1前・後		1								兼1
小計（10科目）	—	8	3								兼10	
地域連携科目	地域社会概論	1前	1				1					兼3
	細振学入門	1前		1								兼1
	北海道産業論A	3前		1								兼1
	北海道産業論B	3前		1		1						兼1
	北海道産業論C	3前		1		1						
	インター・テクノロジーA	3前		1			1					兼1
	インター・テクノロジーB	4前		1			1					兼1
小計（7科目）	—	1	6		2	2					兼7	
一般教養教育 人と社会に関する科目	平和学	1前		1								兼1
	哲学入門	1前		1								兼1
	こころの科学	1前		1								兼1
	経済のしくみ	1前		1								兼1
	日本の憲法	1後		2								兼1
	現代社会論	1後		2								兼1
	現代民主主義論	1後		2								兼1
	現代心理学	1後		2								兼1
	運動の科学	1後		2								兼1
	経済事情	1後		2								兼1
	医の科学	1後		2								兼1
	メンタルヘルス論	1後		2								兼1
	青少年と文化	1後		2								兼2
	異文化交流A	1後		2								兼1
	ドイツの文化	1後・2前		1								兼1
	中国の文化	1後・2前		1								兼1
	環境経済論	2前		2								兼1
	基本的人権論	2前		2								兼1
	地方自治論	2前		2								兼1
	感性の科学	2前		2								兼1
	国際文化論	2前		2								兼1
	異文化交流B	2前		2								兼1
	地域再生システム論	1前		2								兼3
	キャリアデザイン	2後		2		1						
	スポーツ実習a	1前		1								兼3
	スポーツ実習b	1前		1								兼1
	スポーツ実習c	1後		1								兼1
	スポーツ実習d	1後		1								兼1
	臨海実習	1・2・3・4期		1								兼4
	海外語学研修	1・2・3・4期		2								兼3
	海外研修	1・2・3・4期		1								兼3
	社会体験実習	1・2・3・4期		1					1			兼2
	地域インターンシップ	3前・後		2		3						兼5
	短期インターンシップ	3前・後		2		3						兼5
	長期インターンシップ	2前・後		3		3						兼5
	連携教養科目	1・2・3・4期										
小計（36科目）	—		58		4			1			兼26	
日本語科	日本語 A-1	1・2・3・4期		1								兼1
	日本語 B-1	1・2・3・4期		1								兼1
	日本語 C-1	1・2・3・4期		1								兼1
	日本語 D-1	1・2・3・4期		1								兼1
	日本語 A-2	1・2・3・4期		1								兼1

科目	日本語 B-2	1-2-3-4期	1																兼1
	日本語 C-2	1-2-3-4期	1																兼1
	日本語 D-2	1-2-3-4期	1																兼1
	小計 (8科目)	—	8																兼2
理工学部共通科目	線形代数A	1前	2			1	2												
	線形代数B	1後	2			1	2												
	微分積分A	1前	2			1	1	1											
	微分積分B	1後	2			1	2	1											
	微分積分C	2前	2			1	2	1											
	物理学A	1前	2			2	1												兼0
	物理学B	1後	1			2	2												兼4
	物理学C	1後	1			2	2												兼4
	化学	1後	2			1	1			1									兼1
	生物学	1後	2			1	2			1									
	環境科学	2前	2			2	1												兼6
	フレッシュマンセミナー	1前	1					3											兼0
	知的財産所有権論	3前	1																兼2
小計 (13科目)	—	18	4			10	13	1	2									兼13	
理工学部共通科目	情報セキュリティ入門	1前	2																兼4
	データサイエンス入門	1後	2			4	2												兼3
	プログラミング入門	1後	2																兼4
	小計 (3科目)	—	6			4	2												兼7
システム理化学科共通科目	基礎物理実験	2前	1				2		2										兼1
	化学実験	1後	1				1		2										兼1
	基礎生物学	1前	2			1	2												
	基礎化学	1前	2			2			1										
	物質科学	2前	2			3	1												
	振動・波動論	2前	2			1	1												
	物質変換論	2前	2			2	1												
	生物物質化学	2前	2			3	3												
	理工学概論	2前	1			3													
	理工学技術者倫理	3後	2			2	1												
	地球科学入門	1後		1															兼1
	小計 (11科目)	—	17	1		16	10		5										兼3
	情報科目	統計的データ分析	2後	2			1	2											
現代情報学概論		2前	2			3													
確率論		2前	2			3													
理工学情報演習		2後	1				3												
プログラミング演習		2前	2				1		2										
情報システム概論		2前	1				2												
小計 (6科目)	—	10			7	7		2											
コース科目 (物理物質システムコース)	物理数学系	物理数学	3前	2			1												
	物理数学演習	3前	1						1										
	小計 (2科目)	—	3				1		1										
	力学系	力学A	2後	1			1												
	力学B	2後	1			1													
	力学演習	2後	1						1										
	量子力学A	3前	2			1													
	量子力学B	3後	2			1													
	小計 (5科目)	—	7			3			1										
	電磁気学系	電磁気学A	2後	2			1												
	電磁気学演習	2後	1						1										
	電磁気学B	3前	2			1													
	光学	3後	2				1												
小計 (4科目)	—	7			1	2		1											
熱力学系	熱力学	2後	2			1													
熱力学演習	2後	1						1											
統計力学	3前	2																兼1	
小計 (3科目)	—	5			1			1										兼1	
物質科学系	結晶構造学	2後	2			1													
固体物理A	3前	2			1														
物理化学	3前	2			1														
固体物理B	3後	2			1														
小計 (4科目)	—	8			3														
物理物質プレゼンテーション技	2後	1							1										
科学英語	3後	1			1														兼1
応用力学A	3前		1		1														
応用力学B	3前		1																兼1
量子物質科学A	3後		1			1													

物理物質・応用	量子物質科学B	3後		1			1								
	量子物質科学C	3後		1			1								
	量子物質科学D	3後		1			1								
	光物理学A	3後		1						1					
	光物理学B	3後		1				1							
	材料科学A	3前		1			1								
	材料科学B	3前		1										兼1	
	材料科学C	3後		1			1								
	材料科学D	3後		1			1								
	物理物質工場見学	2後		1			1								
	小計(15科目)	—	2	13			5	2			2			兼1	
	実験等	物理物質学実験A	3前	2				1			2				
		物理物質学実験B	3後	2				1			2				
		ゼミナール	4通	2				6	5		4				兼1
		卒業研究	4通	8				6	5		4				兼1
		小計(4科目)	—	14				6	5		4				兼1
物理化学系	物理化学A	2後	2				1								
	物理化学B	2後	2				1								
	物理化学C	3前		2			1								
	化学基礎演習A	3前		1			1								
	物理化学D	3後		2			1								
	化学基礎演習B	3後		1				1							
	高分子化学A	3後		1			1								
	高分子化学B	3後		1			1								
	物理化学実験	3前		1				1			1				
小計(9科目)	—	5	8			3	2			1					
無機・分析化学系	無機化学A	3前		1			1								
	無機化学B	3前		1			1								
	環境化学	3後		2			1								
	分析化学および実験	3前		3				1			1			兼1	
	小計(4科目)	—	3	4				2			1			兼1	
有機化学系	有機化学A	2後		2			1								
	有機化学B	2後		2				1							
	有機化学C	3前		2						1					
	有機化学D	3前		2			1								
	有機合成化学	3後		2			1								
	有機化学演習	3後		1			2	1			1				
	有機構造解析学	4前		2				1							
	有機化学実験	3後		1				2	1			1			
小計(8科目)	—	5	9			2	1			1					
生物化学・生物系	生化学A	2後		2			1								
	生化学B	2後		2				1							
	微生物科学A	2後		2			1								
	微生物科学B	3前		2				1							
	分子生物学A	3前		1				1							
	分子生物学B	3前		1				1							
	細胞生物学	3前		2				1							
	応用微生物学	3後		2			1	1							
	バイオ演習	3後		1			1	1							
	生物システム科学	4前		2			1	1							
	生物化学実験	3後		1				1			1				
小計(11科目)	—	5	13			2	5			1					
化学生物応用	輸送現象論	2後		2				1							
	安全管理	3前		1			1								
	流れ学A	3前		2				1							
	流れ学A演習	3前		1			1								
	流れ学B	3後		2				1							
	流れ学B演習	3後		1			1								
	化学反応操作	3前		2				1							
	物質分離操作	3後		2					1						
	化学プロセス制御	3後		2			1								
	化学プロセス生産論および実験実習	3後		3			1				2				
	企業見学	3前		1			1								
	化学生物プレゼンテーション技法	3後		1						2					
	食品科学	4前		1				1							
	材料科学	4前		1			2								
	食品生産論	4前		1				1							
	材料生産論	4前		1				1							
小計(16科目)	—	9	15			4	5			2					

総合科目	ゼミナール	4通	2			9	11		5		兼1	
	卒業研究	4通	8			9	11		5		兼1	
	小計 (2 科目)	—	10			9	11		5		兼1	
数学	数学概論	2後	2				1					
	応用数学	2後		2				1				
	代数学	3前		2			1					
	幾何学	3前		2			1					
	解析学	3前		2		1						
	数論アルゴリズム	3後		2		1						
	小計 (6 科目)	—	2	10		2	3	1				
	数理と情報・社会	情報学特別講義 A	3前		1		1	1				
		情報学特別講義 B	3前		1			2				
		情報学特別講義 C	3後		1			2				
情報学特別講義 D		3後		1		1	1					
情報学特別講義 E		4前		1		2	4	1				
情報学特別講義 F		4前		1		2	4	1				
小計 (6 科目)		—		6		4	10	1				
情報の基本	データ構造とアルゴリズム	2後	2				1					
	情報数学	2後	2				1					
	信号処理	3前		2			1					
	情報理論	3前		2			1					
	最適化理論	3後		2			1					
	小計 (5 科目)	—	4	6			3	1				
システムの	データベース	2後		2			1					
	論理回路	3後		2			1					
	人工知能	3後		2			1					
	認識と学習	3後		2				1				
	小計 (4 科目)	—		8			2	1				
上級プログラミング	プログラミング A	2後	2					1				
	プログラミング B	3前		2				1				
	言語処理系論	3後		2				1				
	小計 (3 科目)	—	2	4				2				
演習	情報学基礎演習 A	2後	1							4		
	情報学基礎演習 B	3前	1							4		
	情報学PBL演習	3後	1			1	1			1		
	表現技術演習	2後	2					2				
	情報学応用演習 A	3前	1							4		
	情報学応用演習 B	3後	1							4		
	技術英語	2後	2				1					
	基礎情報学演習	3前	1			8	11	1	4			
	情報学ゼミナール	3後	1			8	11	1	4			
	卒業研究	4通	8			8	11	1	4			
小計 (10 科目)	—	19			8	11	1	4				
合計 (215 科目)	—	170	176		23	28	1	13			兼56	
卒業要件及び履修方法												
日本語科目の履修要件等 1. 外国人留学生を対象として開講する授業科目である。 2. 外国語科目として履修することができる。 3. 外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。												
履修科目の上限 毎学期に履修できる科目の単位数は、24単位。ただし、履修申告する学期の直前の学期における履修科目の成績平均値 (G P A) が3.0以上の者は30単位まで履修することができる。												
卒業要件 (一般教養教育) 1. 外国語科目9単位以上、地域連携科目2単位以上、人と社会に関する科目12単位以上、その他外国語科目、地域連携科目及び人と社会に関する科目から1単位以上、合計24単位以上修得すること。												
卒業要件 (理工学部共通科目、システム理化学科共通科目) 1. 理工学部共通科目から26単位、システム理化学科共通科目から27単位以上、合計53単位以上修得すること。												
卒業要件 (システム理化学科 物理物質システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目6単位以上、合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。												
卒業要件 (システム理化学科 化学生物システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目37単位、選択科目15単位以上 (選択科目Aから11単位以上、選択科目Bから2単位以上)、合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。												
卒業要件 (システム理化学科 数理情報システムコース) 1. 本表の授業科目のうち、必修科目27単位、選択科目25単位以上、合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習 a」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「4」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「微分積分A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「教授4、准教授3」から「教授2、准教授1」及び兼任・兼担の配置を「5」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「フレッシュマンセミナー」の兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。

【令和2年度】

- ・担当教員の見直しの理由により、「フレッシュマン英語演習」の兼任・兼担の配置を「8」から「7」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「英語リーディング演習A」「英語コミュニケーションI」の兼任・兼担の配置を「4」から「6」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「英語リーディング演習B」の兼任・兼担の配置を「4」から「7」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「地域社会概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「スポーツ実習 d」「臨海実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「日本語B-1」「日本語C-1」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「微分積分A」「微分積分B」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「微分積分C」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師1」から「教授0、准教授1、講師1」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学A」の専任教員等の配置を「教授4、准教授3」から「教授2、准教授1」及び兼任・兼担の配置を「5」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学B」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授1、准教授1」及び兼任・兼担の配置を「4」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「物理学C」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授2、准教授1」及び兼任・兼担の配置を「4」から「0」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「データサイエンス入門」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2」から「教授3、准教授2」及び兼任・兼担の配置を「3」から「4」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「基礎物理実験」の専任教員等の配置を「准教授2、助教2」から「准教授1、助教2」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「基礎化学」の専任教員等の配置を「教授2、助教1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「物質変換論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「理工学技術者倫理」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「情報システム概論」「情報学特別講義C」「表現技術演習」の専任教員等の配置を「教授0、准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「物理化学C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）の理由により、「ゼミナール」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9、准教授11、助教5」から「教授8、准教授11、助教5」に変更。
- ・担当教員の見直しの理由により、「数学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）及び専任准教授昇任の理由により、「情報学特別講義D」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授0」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任准教授昇任の理由により、「言語処理系論」の専任教員等の配置を「教授0、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）及び専任准教授昇任の理由により、「基盤情報学演習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授11、講師1、助教4」から「教授9、准教授9、講師1、助教4」及び兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教授辞任（定年による退職）及び専任准教授昇任の理由により、「情報学ゼミナール」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8、准教授11、講師1、助教4」から「教授9、准教授9、講師1、助教4」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
93 科目	122 科目	0 科目	215 科目	93 科目 [0]	122 科目 [0]	0 科目 [0]	215 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{215} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	121,138㎡	0㎡	0㎡	121,138㎡			
	運動場用地	25,279㎡	0㎡	0㎡	25,279㎡			
	小 計	146,417㎡	0㎡	0㎡	146,417㎡			
	そ の 他	67,851㎡	0㎡	0㎡	67,851㎡			
合 計	214,268㎡	0㎡	0㎡	214,268㎡				
(2) 校 舎	専 用	70,004㎡ (70,074㎡)			70,004㎡ (70,074㎡)	教育・研究3号館の改修に伴う取り壊しにより18㎡減少した(2)		
	70,022㎡ (70,092㎡)				70,022㎡ (70,092㎡)	教育・研究3号館減り廊下69.86㎡整備予定(元)		
	70,022㎡ (70,022㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	70,022㎡ (70,022㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	3-3室	2-5室	5-9室	6室	0室	教育・研究3号館の改修に伴う転用等及び教員の入替等による用途変更(2)	
	3-4室	2-6室	5-5室				教育・研究3号館の改修に伴う転用等及び教員の入替等による用途変更(元)	
	4-5室	1-2室	5-9室	(補助職員 5人)	(補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	理工学部 システム理化学科		128 室				専任教員7名退職及び辞職、3名採用のため(2)	
			133 室				専任教員2名辞任のため(元)	
		135 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
	理工学部	323,193 [86,712] (313,780 [84,186])	6,127 [2,190] (6,127 [2,190])	3,991 [3,987] (3,991 [3,987])	4,107 (3,987)	295 (295)		図書・設備等更新のため(2)
		326,346 [87,565] (312,833 [84,186])	6,086 [2,184] (6,086 [2,184])	4,005 [4,001] (4,005 [4,001])	4,112 (3,954)	290 (0)		図書・設備等更新のため(元)
	計	331,915 [86,441] (323,527 [85,441])	6,072 [2,182] (6,072 [2,182])	4,536 [3,971] (4,536 [3,971])	4,462 (4,032)	276 (276)	1 (1)	
(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	4,141㎡	374		323,472				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	2,856㎡	テニスコート、弓道場、アーチェリー場						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	室 蘭 工 業 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
工学部	4	-	3年次 40	1280	-	-	-	-	昭和24	-	
建築社会基盤系学科	4	-	3年次 10	240	学士 (工学)	-	-	-	平成21	北海道室蘭市水元町27番1号	平成31年4月学生募集停止 (3年次編入学生を除く) 学年進行により定員△110
機械航空創造系学科	4	-	3年次 10	340	学士 (工学)	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止 (3年次編入学生を除く) 学年進行により定員△160
応用理化学系学科	4	-	3年次 10	280	学士 (工学)	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止 (3年次編入学生を除く) 学年進行により定員△130
情報電子工学系学科	4	-	3年次 10	420	学士 (工学)	-	-	-	平成21	同上	平成31年4月学生募集停止 (3年次編入学生を除く) 学年進行により定員△200
理工学部	4	600	-	1200	-	1.05	1.06	平成31	平成31	-	
創造工学科	4	365	-	730	学士 (工学)	1.05	1.04	平成31	平成31	北海道室蘭市水元町27番1号	
システム理化学科	4	235	-	470	学士 (理工学)	1.07	1.08	平成31	平成31	同上	
工学研究科(博士前期課程)	2	224	-	448	-	1.08	1.02	-	昭和40	-	
環境創生工学系専攻	2	73	-	146	修士 (工学)	1.22	1.15	-	平成26	北海道室蘭市水元町27番1号	
生産システム工学系専攻	2	84	-	168	修士 (工学)	1.00	0.9	-	平成26	同上	
情報電子工学系専攻	2	67	-	134	修士 (工学)	1.03	1.04	-	平成26	同上	
工学研究科(博士後期課程)	3	15	-	45	-	1.46	0.86	-	平成2	-	
工学専攻	3	15	-	45	博士 (工学)	1.46	0.86	-	平成26	北海道室蘭市水元町27番1号	
大学全体	-	839	40	2973	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・高野 英明専任教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・吉田 雅典専任教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・矢野 隆治専任准教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・葛谷 俊博専任准教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・内免 大輔専任准教授の担当授業科目から「微積分A」を削除。
- ・清水 一造兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・飯島 徹兼担教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・亀川 厚則兼担教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・前田 潤兼担教授の担当授業科目に「地域社会概論」を追加。
- ・真境名達哉兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・山田 深兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・廣田 光智兼担教授の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・加野 裕兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
- ・田所 重紀兼担教授昇任のため、兼担教授に変更。
- ・山路奈保子兼担教授昇任のため、兼担教授に変更。
- ・阿知良洋平兼担講師の担当授業科目から「地域社会概論」を削除。
- ・松元 和幸兼担講師退職のため、兼任講師として就任。
- ・田湯 善章兼担助教の担当授業科目から「物理学A」を削除。
- ・湊 亮二郎兼担助教の担当科目見直しのため、削除。
- ・大口 喜久男兼任講師を配置し、授業科目「スポーツ実習a」を担当。
- ・成田 正則兼任講師を配置し、授業科目「スポーツ実習a」を担当。
- ・本村 泰三兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
- ・長里 千香子兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。
- ・市原 健介兼任講師を配置し、授業科目「臨海実習」を担当。

【令和2年度】

- (記入例)
- ・高野 英明専任教授の担当授業科目から「物理学B」を削除。
 - ・太田 勝久専任教授辞任(定年による退職)のため、兼任講師に変更。担当授業科目から「基礎化学」「物質変換論」「ゼミナール」「卒業研究」を削除。
 - ・岸上 順一専任教授辞任(定年による退職)及び特任教授就任のため、兼任教授に変更。担当授業科目から「情報学ゼミナール」「卒業研究」を削除。
 - ・黒木場正城専任教授の担当授業科目から「微積分C」を削除。
 - ・葛谷 俊博専任准教授の担当授業科目から「基礎物理実験」を削除。
 - ・日比野政裕専任准教授の担当授業科目に「基礎化学」を追加。令和2年1月AC教員審査済み。
 - ・藤本 敏行専任准教授の担当授業科目に「物質変換論」を追加。令和2年1月AC教員審査済み。
 - ・須藤 善昭専任准教授昇任のため、専任教授に変更。平成31年4月AC教員審査済み。
 - ・董 晃雄専任准教授昇任のため、専任教授に変更。平成31年4月AC教員審査済み。
 - ・内免 大輔専任准教授の担当授業科目から「微積分B」「微積分C」「数学概論」を削除。
 - ・本田 泰専任准教授の担当授業科目から「物理学B」「物理学C」を削除。
 - ・太田 香専任助教所属変更のため、削除。
 - ・柴田 傑専任助教退職のため、削除。
 - ・令和2年4月高原まどか専任助教就任。令和2年1月AC教員審査済み。
 - ・飯島 徹兼担教授の担当授業科目から「物理学C」を削除。
 - ・塩谷 亨兼担教授の担当授業科目から「TOEIC英語演習I」を削除。
 - ・橋本 邦彦兼担教授の担当授業科目から「英語リーディング演習A」を削除。
 - ・市村 恒士兼担教授昇任のため、兼担教授に変更。
 - ・川村 志麻兼担教授昇任のため、兼担教授に変更。
 - ・廣田 光智兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
 - ・川口 秀樹兼担教授の担当科目見直しのため、削除。
 - ・小野 真嗣兼担教授の担当授業科目から「日本語B-2」を削除し、「日本語C-1」「日本語A-2」「日本語C-2」を追加。
 - ・Brian Gaynor兼担教授の担当授業科目から「英語総合演習」を削除。
 - ・島田 武兼担教授の担当授業科目から「TOEIC英語演習I」を削除。
 - ・田所 重紀兼担教授の担当授業科目から「医の科学」を削除。
 - ・Hagley Eric Thomas兼担教授退職のため、削除。
 - ・三村 竜之兼担教授の担当授業科目から「TOEIC英語演習I」を削除。
 - ・山路奈保子兼担教授の担当授業科目から「日本語A-2」「日本語C-2」を削除し、「日本語B-1」「日本語B-2」を追加。
 - ・田湯 善章兼担助教の担当授業科目から「物理学B」「物理学C」を削除。
 - ・金 新哲兼担助教改姓。
 - ・馬渡 康輝兼担助教昇任のため、兼担教授に変更。
 - ・大口喜久男兼任講師の担当授業科目から「スポーツ実習a」を削除し、「スポーツ実習d」を追加。
 - ・成田 正則兼任講師の担当授業科目から「スポーツ実習a」を削除し、「スポーツ実習d」を追加。
 - ・本村 泰三兼任講師辞任(定年による退職)のため削除。
 - ・深澤 陽子兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」を担当。
 - ・高久 裕子兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語総合演習」を担当。
 - ・劉 冠 偉兼任講師を配置し、授業科目「英語リーディング演習A」「英語リーディング演習B」「TOEIC英語演習I」を担当。
 - ・福澤 純兼任講師を配置し、授業科目「医の科学」を担当。
 - ・桂田 英典兼任講師を配置し、授業科目「微積分C」「数学概論」を担当。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A・C教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A・C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
27	14
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
23	28	1	13	65	23	26	1	13	63
(23)	(28)	(1)	(13)	(65)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
23	26	1	13	63	23	26	1	13	63
[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{63}{65} = \boxed{96.92} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{63} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	柴田 傑	R1.08	必修	情報学基礎演習A	①	R1.08.31付け他大学へ異動のため辞任(2)
				必修	情報学基礎演習B	①	
				必修	情報学応用演習A	①	
				必修	情報学応用演習B	①	
				必修	基盤情報学演習	①	
				必修	情報学ゼミナール	①	
				必修	卒業研究	①	
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{65} = 1.53\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	太田 勝久	必修	基礎化学	①	R2.03.31付け65歳で定年退職(2)			
			必修	物質変換論	①				
			必修	ゼミナール	③				
			必修	卒業研究	③				
			選択	物理化学C	②				
2	教授	岸上 順一	必修	データサイエンス入門	②	R2.03.31付け65歳で定年退職(2)			
			必修	理工学技術者倫理	②				
			必修	基盤情報学演習	②				
			必修	情報学ゼミナール	③				
			必修	卒業研究	③				
			選択	情報学特別講義D	②				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	9 科目	必修	2 科目	必修	3 科目	必修	4 科目
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	11 科目	計	2 科目	計	5 科目	計	4 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>令和2年度開講科目については、後任補充として他の専任教員への担当科目の追加(前期開講:AC教員審査済み、後期開講:AC教員審査受審予定)や兼任兼担教員が担当することとしており、教育上の支障はない。 令和3年度以降の開講科目については、後任補充として他の専任教員への担当科目の追加や新規採用について早期に検討し、開講に影響のないよう準備する。 また、学生には、開講年度のシラバス等において担当教員名を周知予定。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

【令和元年度】

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>養成する人材像とディプロマ・ポリシーの「強靱性」について、強くてしなやかという通常の意味とは異なる意味で用いている。学生や社会一般に誤解を与えないよう、本学の考える「強靱性」の内容について、学生募集時や広報活動の際に十分周知すること。</p>	<p>「強靱性」とは、技術革新や社会環境の変化が速い産業界において、自らの能力を発揮できる強さ・しなやかさを持つことを示しており、変化が速い産業界において能力を発揮するためには、ひとつの専門にとらわれずに幅広い基礎知識と情報技術、複数の専門知識を修得することで、多様な困難に対して広い視野で対応できるようになり、このような人材を「強さ・しなやかさ」を持った人材として捉えている。</p> <p>このことを学生募集、広報活動の際に、学生に誤解のないよう十分説明を行うとともに、理工学部紹介用資料を作成し、設置の趣旨や必要性、理工学部の教育の特徴などと併せて、本学が養成する人材像等について、より理解が深まるよう一部表現を以下のとおり改め、配付した。</p> <p>遵守事項</p> <p>養成する人材像 (強靱性と俯瞰力) 旧)自身の幅広い基礎知識と基本の情報技術を身に付け、多様な困難を俯瞰的に捉えて対応できる科学技術者 新)幅広い基礎知識と基本の情報技術を身に付けて実社会に活かす能力を修得し、多様な困難に、広い視野で柔軟に対応できる科学技術者</p> <p>また、学生や社会一般に向けて、本学HPにおいても上記と同様に養成する人材像、ディプロマ・ポリシーを掲載し、周知している。</p> <p>履行済</p>	

<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>シラバスにアクティブラーニングについて記述する欄を設けているが、例えば予習・復習など、アクティブラーニングではない内容が記述されている。シラバスにおける記述として適切ではないため、アクティブラーニングを行わない科目における記述を削除すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>シラバスに記述するアクティブラーニングに関する項目を見直し、予習復習に係る内容は記述しないこととした。また、当該変更については、「シラバス記入上の注意・シラバス記入例」に反映し、教員に周知した。さらに、シラバス公開前にシラバス担当ワーキンググループによるシラバス点検を2回行い、「シラバス記入上の注意・シラバス記入例」に沿った記述になっていることを確認後、シラバスを公開した。</p> <p>参考資料：シラバス抜粋参照</p>	<p>履行済</p>
<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>「情報セキュリティ入門」については、情報セキュリティの基礎となる考え方を理解するとともに、インターネットやパソコンの安全な利用方法を習得させるとしているが、「安全な利用方法」の習得は利用者側の観点に立った内容（情報リテラシー）となっている。「情報セキュリティ」という名称の科目であれば、OS、ソフトウェア及びネットワークなどのセキュアな構成技術やマルウェア対策などの内容を加えることが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>当該科目で取り扱う内容を見直し、以下の内容について授業を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1_スマートフォンとその脅威、権利関係法規、個人情報、マルウェア対策 2_電子的なコミュニケーションの基礎、電子メールのセキュリティ 3_インターネットサービスとその脅威、クラウドセキュリティ 4_情報管理方法、リスクアセスメントとリスク対応 5_情報セキュリティと情報機器の管理技術 6_セキュリティ技術その1: Wifi、暗号化、IPプロトコルの仕組みと暗号化、Wifi調査 7_セキュリティ技術その2: セキュアなシステム構築 (OS、ソフトウェア、ネットワーク)、電子署名、認証基盤 	<p>履行済</p>

<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>学科名称で使われている「システム」と、コース名称で使われている「システム」について、異なる意味で用いられているため、学生に誤解を与えないよう、学科名称、コース名称の「システム」のそれぞれの意味について、学生募集時に十分周知することが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>学科名称、コース名称で使っている「システム」のそれぞれの意味について、より誤解がないように以下のとおり理工学部紹介に係るHPに概要を掲載し、学生に周知を行った。</p> <p>○システム理化学科概要 システム理化学科の教育コースは、基礎科学に近く、様々な産業の基礎となる分野を扱っています。大学でどのような専門知識を身につけて、将来、社会に貢献していきたいのかを見極められるように、コース分属前の学科共通科目において、システム理化学科の全ての学生が、各コースのベースとなる自然科学（理化学）と情報科目（システム）を広く学べるようにしています。</p> <p>○物理物質システムコース 自然現象を解明する、身近な資源・資産を物理物質システムとして捉え、その本質を探究するための科学の一分野である物理学と、本質に関するデータを抽出し活用するための手段を与える情報学（情報の科学と工学）を融合させた教育研究を行います。</p> <p>○化学生物システムコース 自然現象を解明する、特に地域における身近な資源・資産を化学生物システムとして捉え、その本質を探究するための科学の一分野である化学および生物学と、本質に関するデータを抽出し活用するための手段を与える情報学（情報の科学と工学）を融合させた教育研究を行います。</p> <p>○数理情報システムコース 自然現象の解明から地域における身近な問題を数理情報システムの観点から捉え、その本質から探究する科学分野を中心に学びます。特に論理基盤を与える数学を基礎に、広範囲な情報学を学び、情報に関わる科学と工学を融合させた教育研究を行います。</p> <p>また、各コースの紹介ページにおいて、コースの概要説明に加え、コースの教育プログラムの具体や想定する就職状況の具体なども併せて掲載し、学科・コースの内容等に誤解のないよう周知している。</p>	<p>履行済</p>

【令和2年度】

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 システム理化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 令和2年度学部学年暦 前期授業日：4月8日～7月29日	① 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、令和2年度における授業開始日を延期。 前期授業日：4月22日～8月10日
② 授業計画（シラバス）の変更 令和2年度前期開講科目（一部） 授業実施方法…面接授業 成績評価手法…一斉に実施する定期試験	② 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoomを用いた遠隔（オンライン）授業で実施。 授業実施方法…遠隔授業 成績評価手法…レポート、課題

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 室蘭工業大学理工学人材育成本部の下にFD・AL部門を有する教育推進支援センターを設置</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <table border="0"> <tr> <td>1回目</td> <td>令和元年6月25日（火）</td> <td>参加委員10/11名</td> <td>5回目</td> <td>令和元年7月25日（木）</td> <td>参加委員10/11名</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>令和元年6月28日（金）</td> <td>参加委員6/11名</td> <td>6回目</td> <td>令和元年9月13日（金）</td> <td>参加委員10/11名</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>令和元年7月2日（火）</td> <td>参加委員10/11名</td> <td>7回目</td> <td>令和元年10月28日（月）</td> <td>参加委員9/11名</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>令和元年7月11日（木）</td> <td>参加委員11/11名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>c 委員会の審議事項等 FDの企画、立案及び実施に関すること。アクティブラーニングの推進に関すること。 その他授業科目の教育内容及び方法等の向上に関すること。</p>	1回目	令和元年6月25日（火）	参加委員10/11名	5回目	令和元年7月25日（木）	参加委員10/11名	2回目	令和元年6月28日（金）	参加委員6/11名	6回目	令和元年9月13日（金）	参加委員10/11名	3回目	令和元年7月2日（火）	参加委員10/11名	7回目	令和元年10月28日（月）	参加委員9/11名	4回目	令和元年7月11日（木）	参加委員11/11名				
1回目	令和元年6月25日（火）	参加委員10/11名	5回目	令和元年7月25日（木）	参加委員10/11名																				
2回目	令和元年6月28日（金）	参加委員6/11名	6回目	令和元年9月13日（金）	参加委員10/11名																				
3回目	令和元年7月2日（火）	参加委員10/11名	7回目	令和元年10月28日（月）	参加委員9/11名																				
4回目	令和元年7月11日（木）	参加委員11/11名																							
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 教育ワークショップ（FDワークショップ）、FD講演会、教員相互の授業参観 等</p> <p>b 実施方法 ワークショップ形式、講演会、授業参観等の本学教職員を対象としたFDの実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和元年度の実施状況は以下のとおりであり、令和2年度も継続的にFDを実施する予定である。 ・FDワークショップ（9/17-18実施_参加者20名（他大学参加者1名を含む）） ・FD講演会（11/21実施_参加者42名、1/23実施_参加者32名） ・教員相互の授業参観（6月実施_参加者のべ112名、11月実施_参加者のべ82名）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 各FD終了後にアンケートを実施。参加者の満足度や要望等を分析し、次回以降の同活動の改善に役立てている。</p>																									

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学生による授業評価アンケートを毎期最終週に紙面にて実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学Webサイト上で公開

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成に向けて、計画どおり順調に進捗している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定（検討中）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和元年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援機構・学位授与機構）の評価を受審した。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。